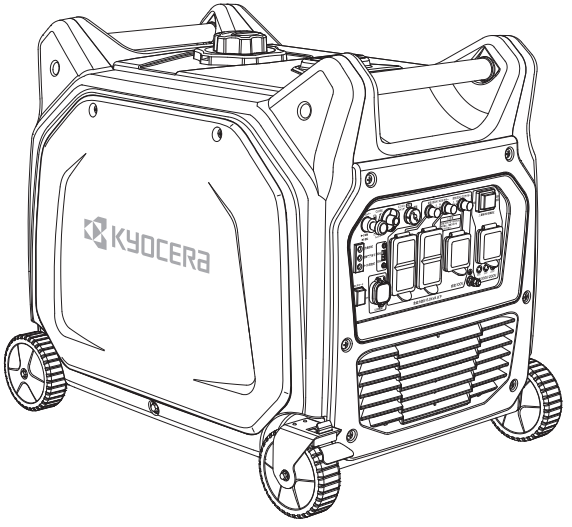
KYOCERA

エンジン発電機
EGI600

取扱説明書

保証書付



もくじ

ページ

安全上のご注意…… 1

ご使用前に…… 5
- ラベル表示について …… 5
- 各部の名称 …… 7
- 仕様 …… 9
- 付属品 …… 10
- 交流・直流電源の使用可能範囲 ……11
- 各部の取扱いについて …… 13
- 運転前の点検 …… 22

使用方法…… 28
- 発電機のかけかた …… 28
- 電気の取出しかた …… 33
- 発電機の止めかた …… 41

点検・整備…… 42
- 定期点検について …… 42
- バッテリーの接続、取外し …… 52

運搬および保管・格納…… 57
- 運搬 …… 57
- 保管・格納 …… 59

故障かなと思ったら …… 63

配線図…… 65

保証書…… 裏表紙

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本製品の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

69802230-00 202607

安全上のご注意

● 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

● ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「⚠ 警告」と「⚠ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「⚠ 警告」・「⚠ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「⚠」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

● お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

● 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警　告

●一般的な安全上のご注意

- 子供は発電機に近寄らせないでください。けがや事故の原因になります。
- ガソリンは非常に引火しやすく、また気化したガソリンは爆発して死傷事故を引き起こすおそれがあります。燃料を補給するときは、必ずエンジンを停止し換気の良い場所で行なってください。
- 燃料を補給するときや燃料タンクの付近では、タバコを吸ったり、炎や、火花などの火気を近づけないでください。
- 燃料は、こぼさないように注意してください。燃料がこぼれた場合は、きれいにふき取り、乾かしてからエンジンを始動してください。
  ふき取った布きれなどは、火災と環境に十分に注意して処分してください。
- 使用中や停止直後の発電機はエンジン本体や排気口などが非常に熱くなっています。エンジン本体や排気口などに触れたり、物をのせないでください。やけどなどの傷害や火災事故を引き起こすおそれがあります。
- 排気ガス中には、有害な成分が含まれています。排気は風通しのよい場所に向けてください。ご使用になる方はもちろん、まわりの人や、動植物などにも十分ご注意ください。

⚠ 警　告

- 使用中は建物およびその他の設備から１m以上発電機を離してください。
  発電機から出る排気ガスは熱くなります。まわりに危険物（油脂類、セルロイド、火薬など）や燃えやすいもの（わらくず、紙くずなど）は近づけないでください。また発電機の周囲を囲ったり、箱をかぶせたりしないでください。発電機や使用器具に損傷を起こすだけでなく思わぬ火災や事故を起こす可能性があります。
- この取扱説明書を事前に読み、正しい取扱い方法を十分にご理解の上、操作してください。
- この発電機は車載用として製造はしていませんので車載したまま使用しないでください。
- 発電機を間違いなく取扱うために各部の操作に慣れ、すばやく停止させる方法を習得してください。
- 適切な指示､説明なしでは絶対に誰にも発電機を運転操作させないでください｡また､子供には操作させないでください。事故や、機器の損傷が起こる原因となります。
- エンジンを始動する前に必ず「運転前の点検」（22 ～ 27 ページ）を行なってください。
  事故や発電機、使用器具の故障の防止になります。
- 過労や飲酒、薬物を服用して発電機を使用しないでください。判断が鈍り重大な事故を引き起こすことがあります。
- 室内、車内、倉庫、トンネル、井戸、船倉、タンク内などや換気の悪い場所では使用しないでください。換気の悪い場所は、酸素不足と有害な一酸化炭素がたまってガス中毒の危険があります。
- 発電機は平坦な堅い場所で水平に置いて使用してください。
  小石、土、砂利などで凸凹していたり、軟らかい所、草むらや傾斜地では使用しないでください。発電機が転倒し、発電機や使用器具の故障を起こすだけでなく思わぬ事故を起こす可能性があります。
- 十分な防塵対策や飛散防止対策をしてください。
  特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
  アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。
- 発電機の改造は絶対にしないでください。
  発電機や使用器具が故障するだけでなく思わぬ事故を起こす可能性があります。
- カバー類を外したまま使用しないでください。手や足を挟んだり思わぬ事故を起こす可能性があります。
- 損傷した部品がないか点検してください。
  使用前に保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。

⚠ 警　告

破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守･点検･修理は受付できません。

- 使用中は発電機を傾斜させたり、移動しないでください。
燃料漏れや振動による自然移動、転倒による発電機や使用器具の損傷、故障の原因など思わぬ事故の可能性があります。
- 使用中に音、におい、振動などで異常を感じたら直ちにエンジンを停止し、お買い上げの販売店にお申し付けください。
- 発電機から離れるときは、必ずエンジンを止め、コンセントから使用器具のプラグを外してください。
いたずらなどで使用器具が動きだし、思わぬ事故を起こす可能性があります。
- 発電機を水洗いしないでください。
電装部品の故障やショートを起こす可能性があります。また湿気や凍結により使用時に感電するおそれがあります。
- 長期保管前には、燃料タンク、キャブレター（気化器）内のガソリンを抜き取り、発電機を火気、湿気、凍結のおそれのない所に保管してください。抜き取ったガソリンは火災や爆発の危険性がありますので適切な処理をしてください。
- 点検や清掃をするときは必ずエンジンを停止し、誤ってエンジンが始動しないようにエンジンスイッチを“停止”にし、点火プラグキャップを取外して行なってください。
また、エンジン停止直後のエンジン本体や排気口などは非常に熱くなっています。やけどをしないように、各部が十分に冷えてから作業を行なってください。
- 絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがや事故の原因になります。

⚠ 警　告

●電気的な安全上のご注意

- 発電機には、故障した電気機器は接続しないでください。
- 電気部品（線およびプラグ接続部も含む）に欠陥がないことを確認してください。
- 電力会社からの電気配線には絶対接続しないでください。
  発電機や使用器具を故障させたり、火災あるいは人身事故の原因になります。
- 延長コードを使用する場合は、ゴム可とうケーブル（IEC60245-4 相当）などの耐久性のあるキャブタイヤケーブルまたはキャブタイヤコードを使用してください。
- 発電機に接続する電気機器の電源コード（全長）は断面積が 1.5mm^2 の場合は 60m、断面積が 2.5mm^2 の場合は 100m を超えないでください。
  電気機器によっては電圧降下により正常に使用できない場合があります。そのときは、発電機を移動して電源コード（全長）を短くして使用してください。
- 雨や水のかかる場所では使用せず、必ず乾燥した場所で使用してください。
  雨や水でぬれた発電機や使用器具を使用したり、またぬれた手で操作すると感電することがあり危険です。
- 可燃性ガスや引火性物質の蒸気が存在する場所では使用しないでください。
- 腐食性ガス・溶液が発散する場所では使用しないでください。
- 発電機のご使用に際しては法律や規則がありますので、労働安全衛生規則、消防法、電気事業法などに従ってください。

免責事項について

お客様または第三者が、本製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合または本製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

ご使用前に

■ ラベル表示について

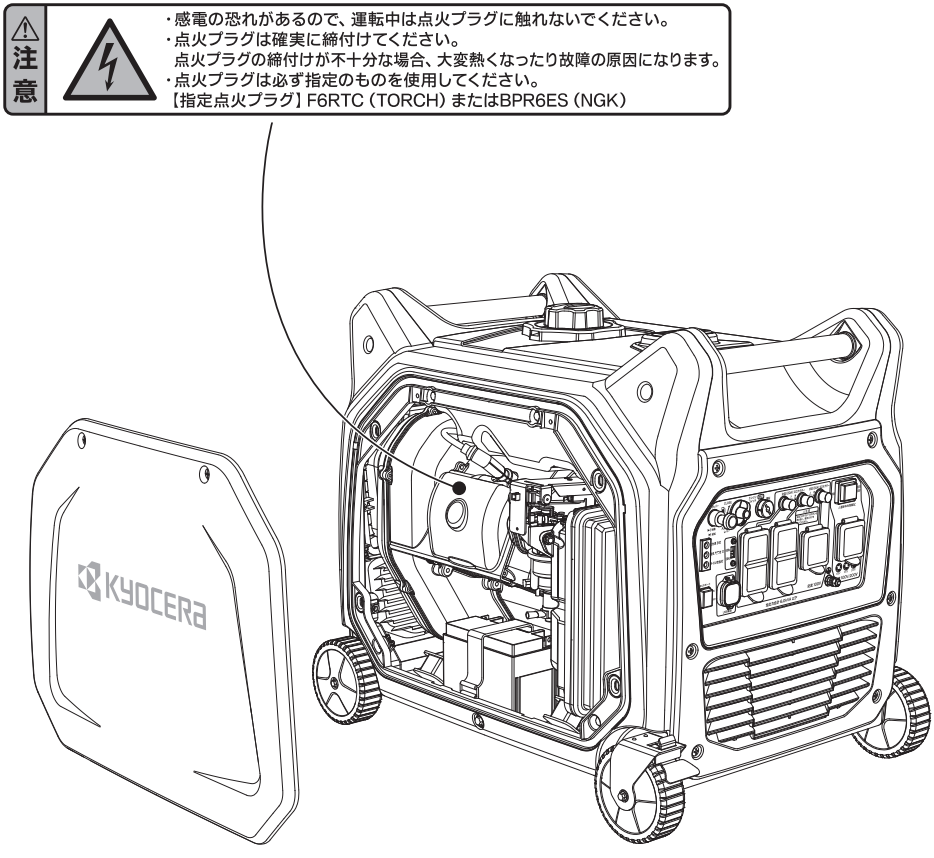
発電機を安全に使用していただくために、本製品には警告ラベル、注意ラベルが貼ってあります。

ご使用前によく読んで十分理解したうえで作業してください。

（警告ラベル、注意ラベルの取扱い）

- ラベルについた汚れや泥を取り、表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
- ラベルが損傷したりはがれた場合は、新しいラベルと交換してください。
- ラベルが貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい部品の同じ場所に、同じラベルを貼ってください。

プラグ注意ラベル



警告ラベル

⚠警 告

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

排気ガスによる中毒のおそれがあります。
・換気の悪い所で使用しないでください。
・人・建物・設備に排気を向けないでください。

感電や火災のおそれがあります。
・電力会社からの電気配線には絶対に接続しないでください。

火災や爆発により死傷のおそれがあります。
・給油の前にエンジンを停止してください。
・給油口に火を近づけないでください。
・燃料は燃料タンクの上限ラインを超えない範囲で給油してください。
・燃料のこぼれ、漏れがないか確認してください。
・こぼれた燃料は完全にふき取ってください。
・燃料漏れを防ぐため、保管や運搬時には、エンジンスイッチが停止、燃料コックレバーがCLOSEの位置にあることを確認してください。
・燃えやすい物のそばで使用しないでください。
・火災を防ぐため、森林で使用しないでください。

感電のおそれがあります。
・雨中で使用しないでください。
・濡れた手でさわらないでください。

高温注意ラベル

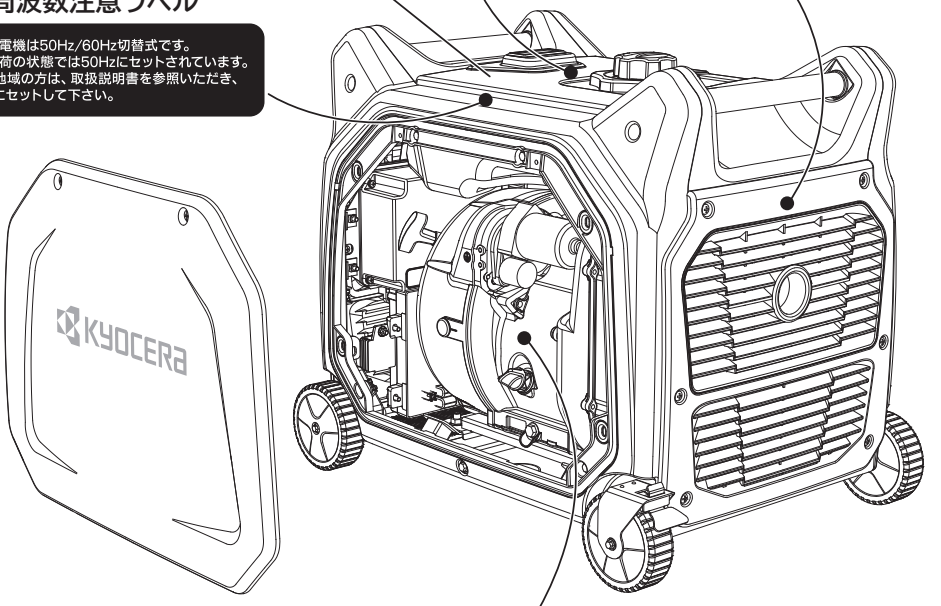
⚠警 告

高温注意
やけどの恐れがあるので、
排気口に触れないでください。

製造番号表示位置

周波数注意ラベル

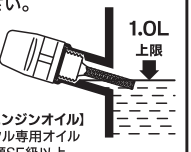
この発電機は50Hz/60Hz切替式です。
工場出荷の状態では50Hzにセットされています。
60Hz地域の方は、取扱説明書を参照いただき、
60Hzにセットして下さい。



オイル注意ラベル

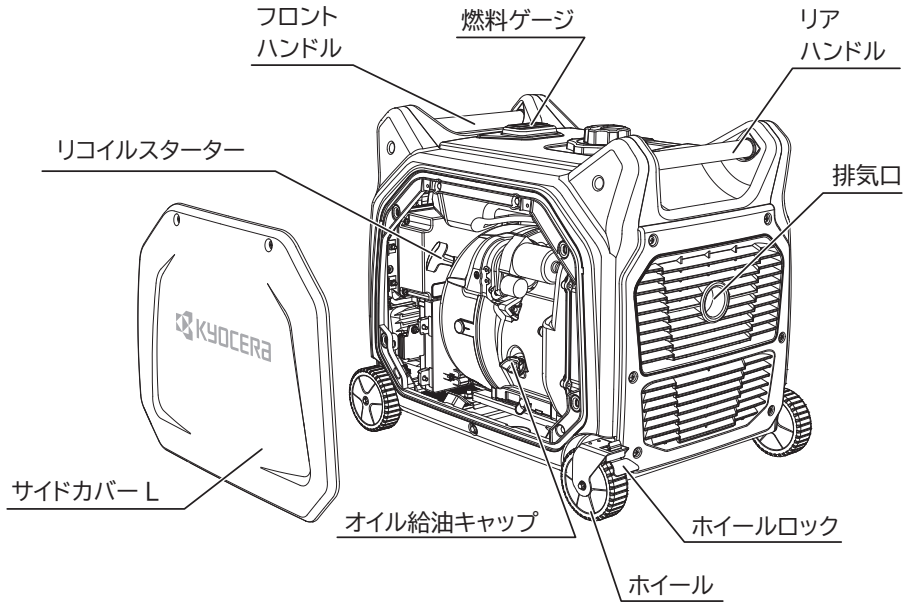
⚠注 意

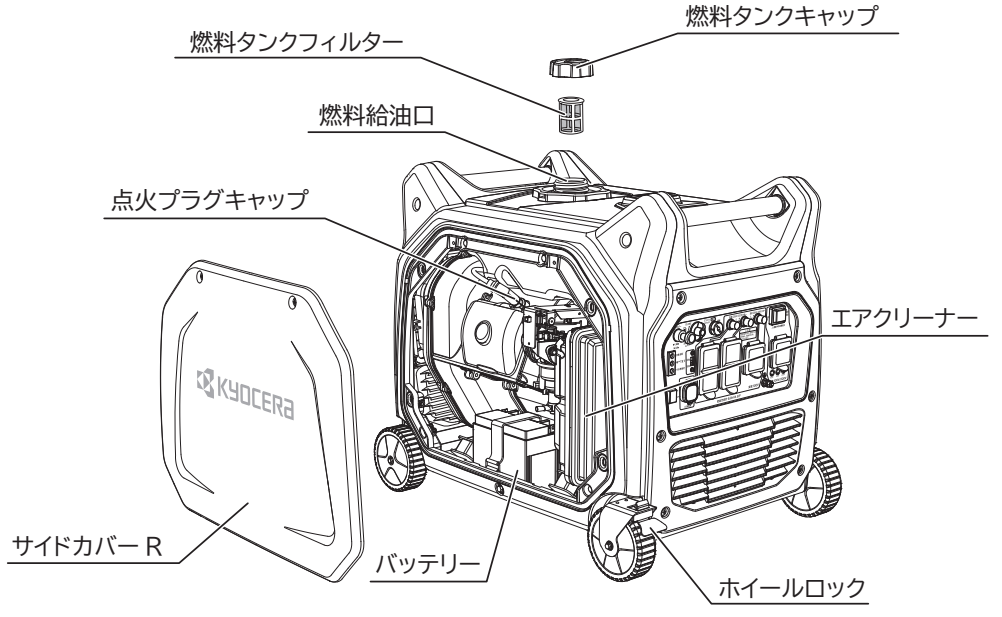
オイルの入れすぎに注意してください。

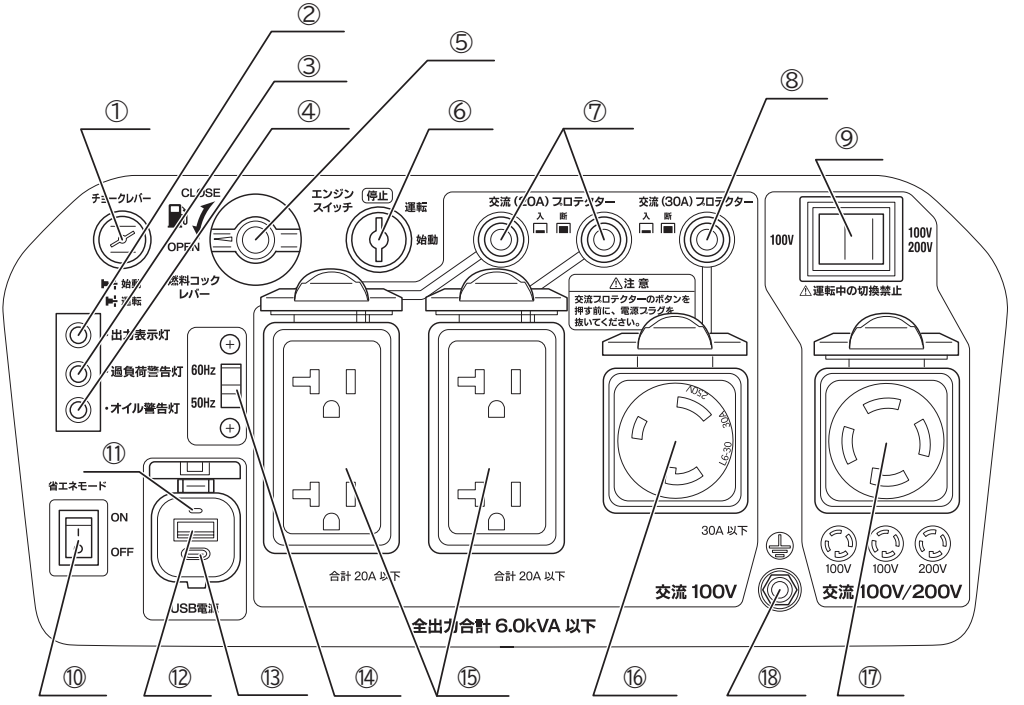


【指定エンジンオイル】
4サイクル専用オイル
API分類SE級以上
SAE 15W-40または10W-30, 5W-30

■ 各部の名称


フロント
ハンドル
燃料ゲージ
リア
ハンドル
リコイルスターター
排気口
サイドカバー L
オイル給油キャップ
ホイールロック
ホイール


燃料タンクキャップ
燃料タンクフィルター
燃料給油口
点火プラグキャップ
エアクリーナー
サイドカバー R
バッテリー
ホイールロック



番号	名称	番号	名称
①	チョークレバー	⑩	省エネモードスイッチ
②	出力表示灯	⑪	USB 電源通電ランプ
③	過負荷警告灯	⑫	USB 電源（Type-A）
④	オイル警告灯	⑬	USB 電源（Type-C）
⑤	燃料コックレバー	⑭	周波数切換えスイッチ
⑥	エンジンスイッチ	⑮	交流コンセント（AC100V 20A）
⑦	交流プロテクター（20A）	⑯	交流コンセント（AC100V 30A） 米国 NEMA 規格 L6-30R タイプ
⑧	交流プロテクター（30A）	⑰	交流コンセント（AC200V（単相）30A） 米国 NEMA 規格 L15-30R タイプ
⑨	電圧切換えスイッチ	⑱	アース端子

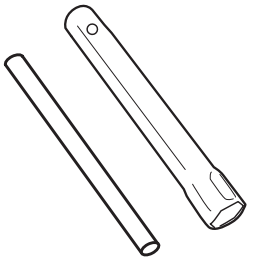
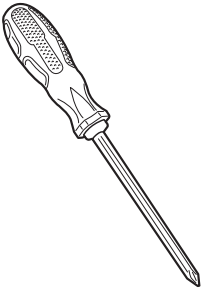
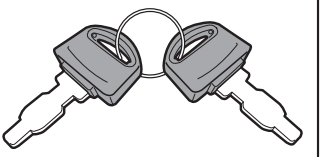
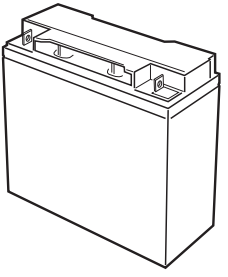
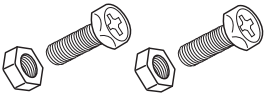
■ 仕様

モデル			EGI600
本体	電圧調整方式		インバーター式
	始動方式		セルスターター／リコイルスターター（手動）
	発電機形式		多極界磁回転型
	交流	定格出力 ※	6.0 kVA
		定格出力周波数	50 Hz ／ 60 Hz
		定格電圧	単相　100 V ／ 200 V
		定格電流	60 A ／30 A
		出力端子	100 V：アース付きコンセント ／米国 NEMA 規格 L6-30R タイプ 200 V：米国 NEMA 規格 L15-30R タイプ
	直流	USB Type-A	5V/3A, 9V/2A, 12V/1.5A　} 同時出力時
		USB Type-C	5V/3A, 9V/3A, 12V/2.5A　} 最大 5V3A
	寸法	長さ	770 mm
		幅	548 mm
		高さ	630 mm
	形式		フルカバードタイプ
	質量（乾燥時）		82.0 kg
	連続運転可能時間		5.5 時間（定格負荷）
			11.5 時間（1/4 負荷 省エネモード）
エンジン	原動機の形式		空冷 4 ストローク単気筒 OHV
	総排気量		389 mL
	使用燃料		無鉛レギュラーガソリン
	燃料タンク容量		18.0 L
	潤滑油容量		1.0 L
	エンジン潤滑油		4 サイクル専用オイル API 分類 SE 級以上 SAE 15W-40 または 10W-30, 5W-30
	点火プラグ		F6RTC(TORCH) BPR6ES(NGK)
	始動用バッテリー		12V 18Ah 20HR

※標高が高い所で使用すると出力が低下します。標高 1,000m 以下で使用してください。

◆上記は当社の基準に基づいた値です。

■ 付属品

プラグレンチ…… 1 	⊕ドライバー…… 1 	スタートキー …… 2 
バッテリー…… 1 （本体取付）  ※ ご使用前に接続してください。	ボルト・ナットセット … 各2 （バッテリー端子接続用） 	

■ 交流・直流電源の使用可能範囲

● 交流電源の使用可能範囲の目安

下記の範囲でご使用ください。

<table>
<tr><td>電圧切換えスイッチ</td><td>100V</td><td colspan="2">100V ／200V</td></tr>
<tr><td>交流コンセント</td><td>（100V のみ）</td><td>100V</td><td>200V</td></tr>
<tr><td rowspan="2">オーブントースター
電気ポット
炊飯器
テレビ
照明（白熱灯、ハロゲン灯など）</td><td rowspan="2">6000W(VA) まで</td><td>6000W(VA) まで</td><td>6000W(VA) まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">合計で
6000W(VA) まで</td></tr>
<tr><td rowspan="2">エアコンプレッサー
照明（水銀灯、メタルハライドランプなど）</td><td rowspan="2">1500W(VA) まで</td><td></td><td>1500W(VA) まで</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">上記以外の電動工具</td><td rowspan="2">6000W(VA) まで</td><td>6000W(VA) まで</td><td>6000W(VA) まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">合計で
6000W(VA) まで</td></tr>
</table>

※ 電動工具類、モーター類の一部には取出し可能範囲が上記表内の数値内でも起動電流が大きく使用できないことがあります。発電機で使用できるか、使用する機器の販売会社に問い合わせるか、または取扱説明書を確認してください。

⚠ 注　意

- 使用環境（温度や気圧、湿度など）により取出し可能な電力が低下することがあります。
- 使用器具の合計電力が発電機の取出し可能範囲を超えた過負荷で使用しないでください。発電機損傷の原因になります。
- 精密機器、電子制御機器、パソコン、電子計算機、マイコン付機器および充電器類への使用は、発電機のエンジンノイズ（原動機雑音）の影響を受けない距離を確保してください。また、近くにある他の電気製品がエンジンノイズ（原動機雑音）に影響されないことを確認してください。
- 医療機器への使用はしないでください。思わぬ事故の原因になります。

● 直流電源（USB 電源）

・ スマートフォン、タブレット端末などの USB 機器を充電できます。

⚠ 警　告

- **発電機の USB 電源に電気機器を接続したまま発電機を始動させないでください。思わぬ事故や感電の原因になります。**
- **スマートフォン、携帯電話、ゲーム機、デジタルカメラなどの電子機器でエンジンノイズの影響（誤作動）を受ける場合は、使用をお控えください。**

⚠ 注　意

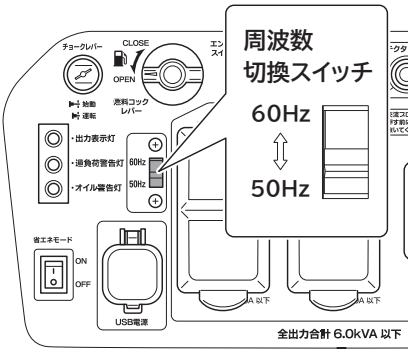
- **本製品の USB 電源は全ての機器の充電を保証するものではありません。**
- **本製品の USB 電源では、データの受信はできません。**
- **接続される機器に登録した各種メモリーは必ずバックアップをとってからご使用ください。万一、本製品を使用し、メモリーが破損、消失しましても当社では責任を負いかねます。**
- **接続される機器の損害などに関しましては、当社では責任を負いかねます。**

⚠

- USB 電源を使用される場合は省エネモードスイッチを**“OFF”**にして使用してください。
- 充電する USB 機器の取扱説明書をよくお読みください。

■ 各部の取扱いについて

● 周波数切換えスイッチ

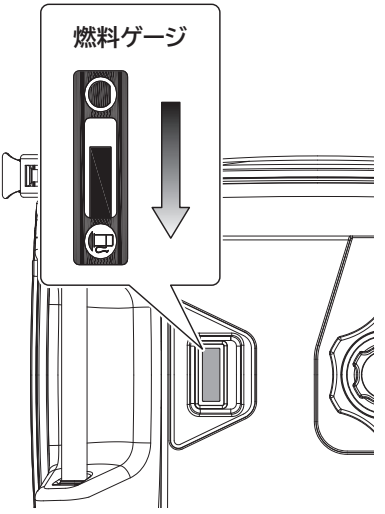


- 周波数の切換え（50Hz ⇔ 60Hz）を行なうスイッチです。
- エンジンを始動する前に、使用器具に合わせ周波数を切換えてください。

⚠

- 工場出荷時に周波数は 50Hz にセットされています。
- 使用する機器の破損や異常動作、本製品の破損のおそれがありますので、周波数の切換えは、エンジンの停止中に行なってください。
- 使用する機器の周波数が不明な場合は、使用器具の会社にご相談ください。

● 燃料ゲージ



- 燃料タンク内の残量を確認するときに使用します。

：十分な量の燃料がタンク内にあります。

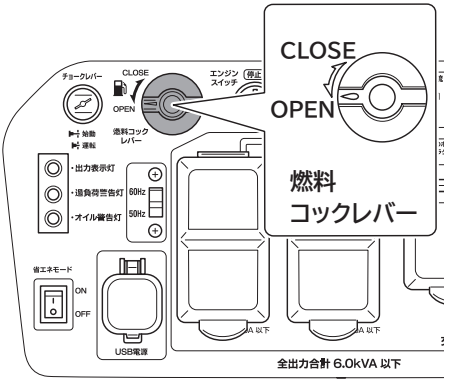
：燃料が不足しています。補給してください。

● 燃料コックレバー

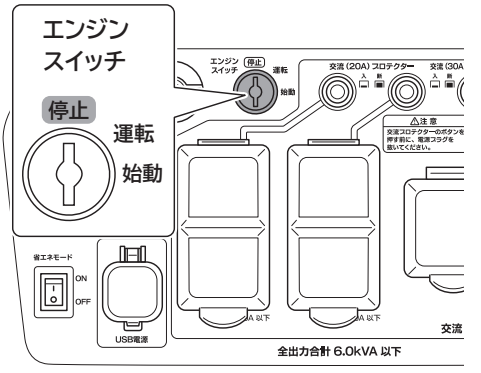
- 発電機を運転、停止するときに操作します。

OPEN ：エンジン運転時の位置です。燃料が供給されます。

CLOSE：エンジン停止および保管、運搬時の位置です。燃料が供給されません。



● エンジンスイッチ（セルスターター）
※キーで回すタイプ



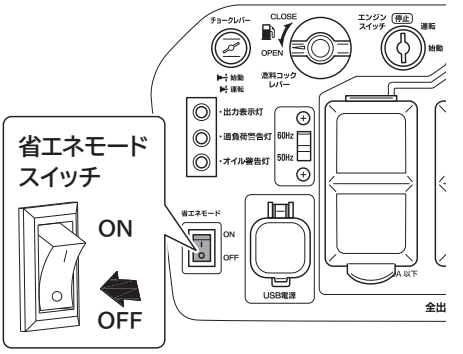
・ 発電機を運転、停止するときに操作します。

始動 ： エンジン始動時の位置です。

運転 ： エンジン運転時の位置です。

停止 ： エンジン停止および保管、
運搬時の位置です。

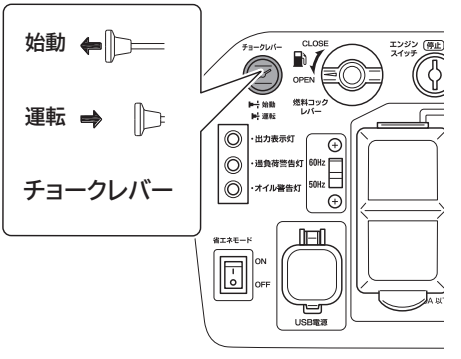
● 省エネモードスイッチ



・ 省エネモードスイッチを**“ON”**にすると、電気を取出していないとき自動的にエンジンの回転が下がり、電気を取出しているときには使用する負荷に応じた回転になります。
大きい負荷を使用するときは、電圧の変動を少なくするために、省エネモードスイッチを**“OFF”**にしてください。

・ 直流電気を使用する場合は省エネモードスイッチを**“OFF”**にしてください。

● チョークレバー



・ 始動時にエンジンが冷えている場合はチョークレバーを操作します。

始動： チョークレバーを引いた状態にしてください。

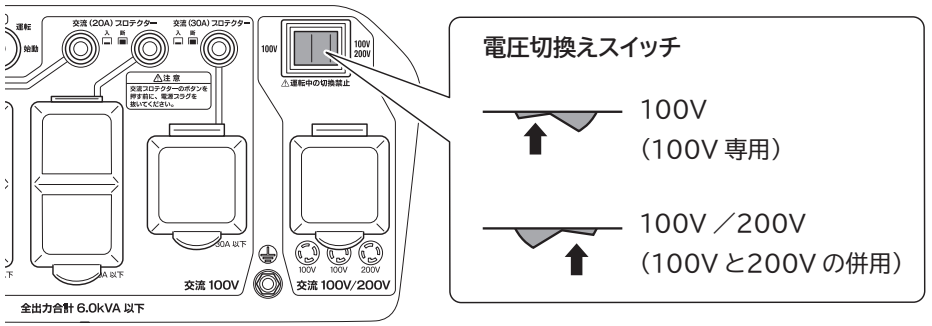
運転： チョークレバーを押し込んだ状態にしてください。

● 電圧切換えスイッチ

・ スイッチを切換えることにより「100V 専用」と「100V ／ 200V の併用」を切換えます。
エンジンを始動する前に切換えてください。

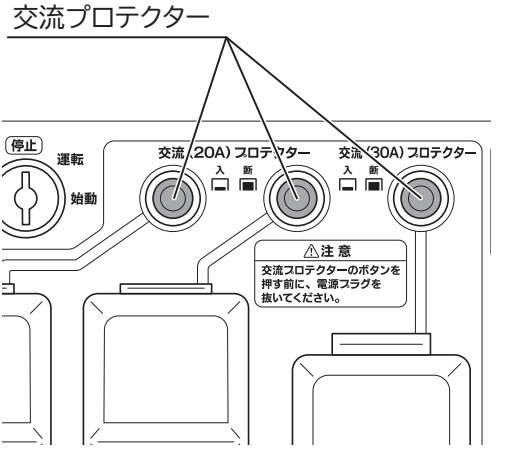
⚠

・ 切換えはエンジン停止中に行なってください。



● 交流プロテクター

・ 使用器具に異常があった場合や過負荷が継続された場合に保護機能が働き、電気が取り出せなくなります。
保護機能が働いた場合、2 分以上待ってからプロテクターのボタンを押してください。
2分以上経過したあと、プロテクターのボタンを押す場合は、事前に接続されている使用器具のスイッチを切り、プラグをコンセントより抜いてください。

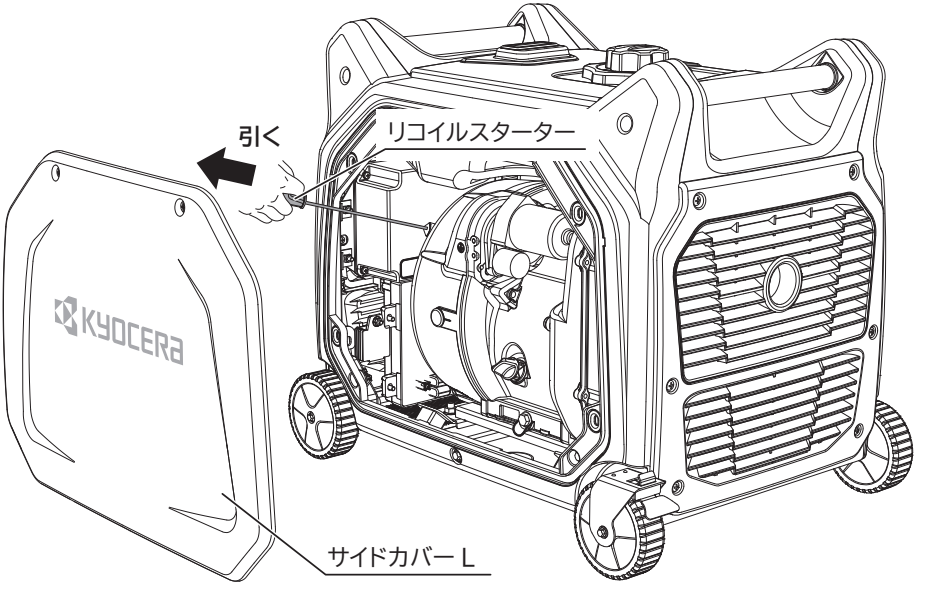


⚠

・ プロテクターのボタンが突出しているときに、プロテクターが作動しています。プロテクターのボタンを押しても出力しない場合は、エンジンを停止して、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

● リコイルスターター（サイドカバー L 内）

・ バッテリーの電圧低下などでセルスターターでの始動ができない場合は、リコイルスターターを使用してエンジンを始動します。

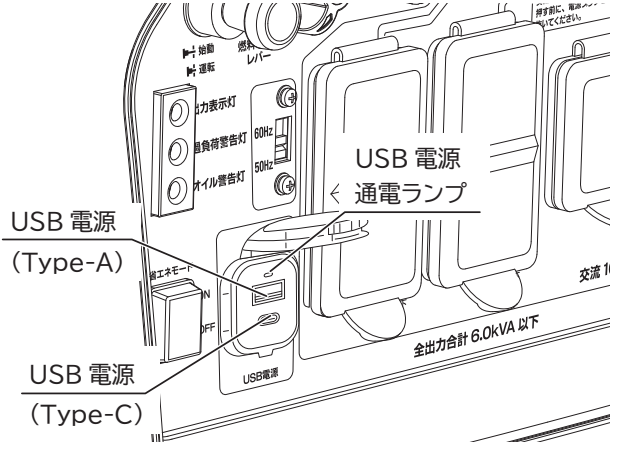


● USB 電源

・ USB 電源からスマートフォン、タブレットなど USB 機器を接続して電気を取出すところです。

・ USB 電源を使用する場合は省エネモードスイッチを“OFF”にしてください。
（14 ページの「省エネモードスイッチ」参照）

・ 電気の取出しが可能になると、USB 電源通電ランプが緑色に点灯します。

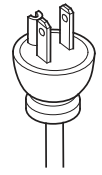


● 交流コンセント（100V ／ 200V）

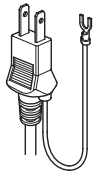
- 交流電気を取出すところです。
  コンセントへプラグをさし込む場合は、接触不良、抜けのないように確実に行なってください。
- アース線付プラグを使用する場合は必ずアース線をアース端子に接続して使用してください。

《100 V》

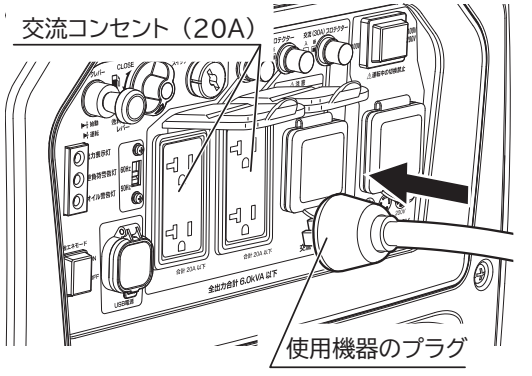
- アース線付プラグまたはアース付3本足さし込みプラグの機器を使用する際は、発電機も必ずアースしてください。
  （18 ページの「アース端子」参照）



アース付3本足
さし込みプラグ



アース線付プラグ

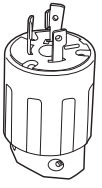


アース付3本足
さし込みプラグ

※ アース線付プラグを使用する場合は必ずアース線をアース端子に接続して使用してください。

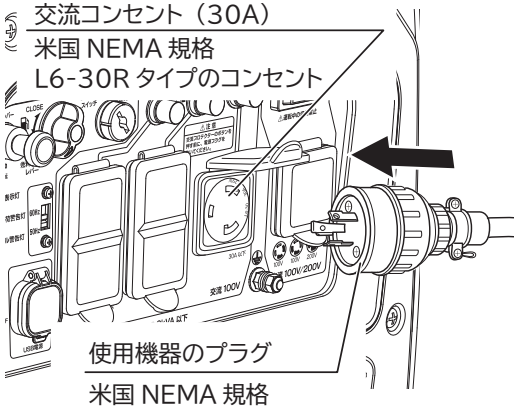
《100 V》

- 米国 NEMA 規格 L6-30P タイプのプラグをご使用ください。



米国 NEMA 規格
L6-30P タイプのプラグ

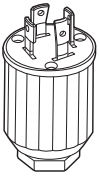




米国 NEMA 規格
L6-30P タイプのプラグ

《200 V》

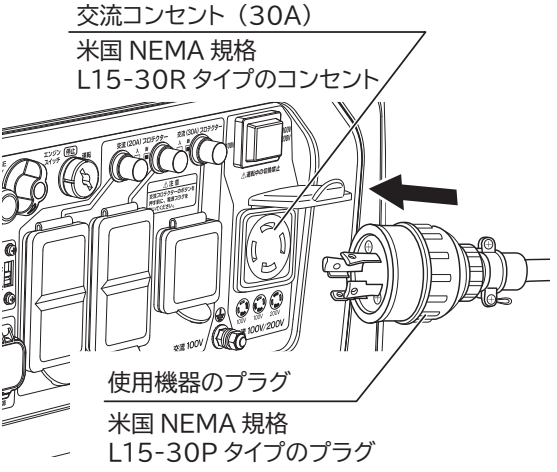
・米国 NEMA 規格 L15-30P タイプのプラグをご使用ください。



米国 NEMA 規格
L15-30P タイプのプラグ



〈正面図〉



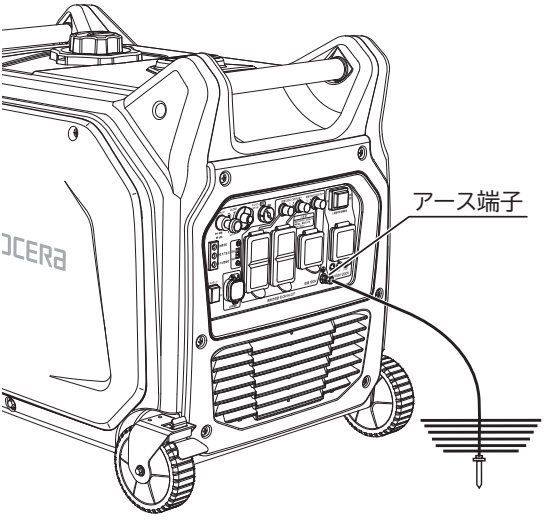
● アース端子

・感電防止のアース線を取付ける端子です。
アース端子にアース線を接続して先端を地中にアースします。

・感電事故防止のため、ご使用前に必ず接地（アース）してください。

・使用器具をアースしたときは、発電機も必ずアースしてください。

※ アース線は付属していません。



● 出力表示灯

緑ランプ点灯 …… 正常に発電していることを示します。

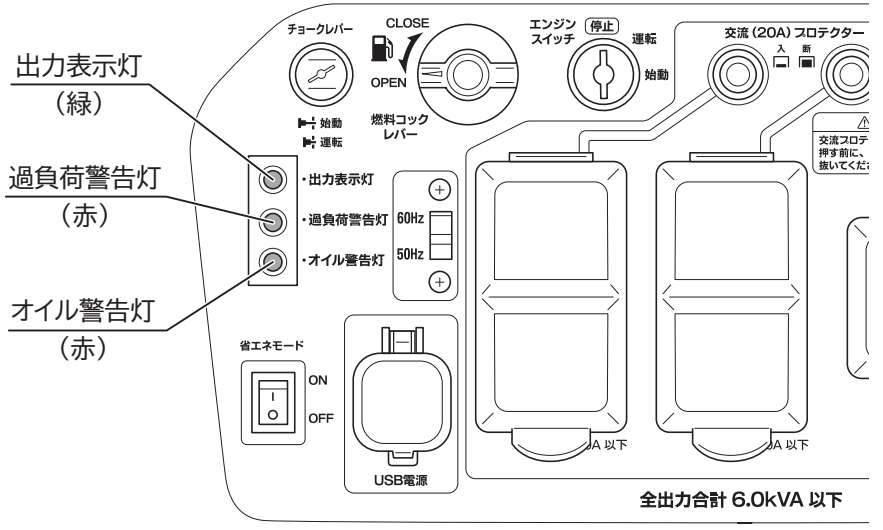
緑ランプ消灯 …… 発電機が発電していません。

● 過負荷警告灯（交流のみ）

赤ランプ点灯 …… 過負荷が継続された場合および出力電圧が異常な（使用器具から定格出力を超える電気を要求された）場合を示します。その後、30 秒以内に出力が停止します。（エンジンは停止しません）

● オイル警告灯

・ オイル警告灯（赤）は運転中にエンジンオイルが規定量以下になると点灯し、エンジンは自動的に停止します。また、始動時にエンジンオイルが規定量以下になっていると始動しようとしてもオイル警告灯（赤）が点灯し、エンジンは始動しません。



● サイドカバー

・ サイドカバーの取付ネジを付属の⊕ドライバーでゆるめて、本体との上側のすき間にお手持ちの⊖ドライバーをさし込んで取外します。

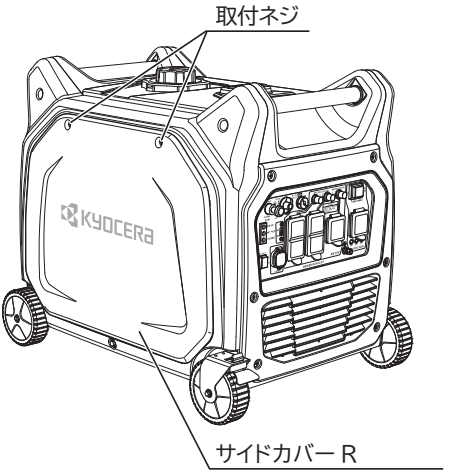
※ 左右共通です。

《サイドカバー L》

・ エンジンオイルの給油や交換、リコイルスターターで始動をするときに取外します。

《サイドカバー R》

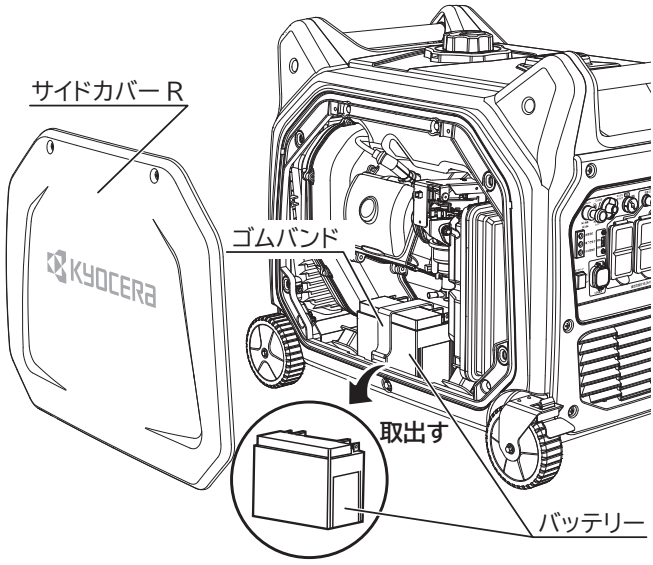
・ エアクリーナーの清掃、点火プラグのメンテナンス、バッテリーの点検や充電をするときに取外します。



※反対側はサイドカバー L です。

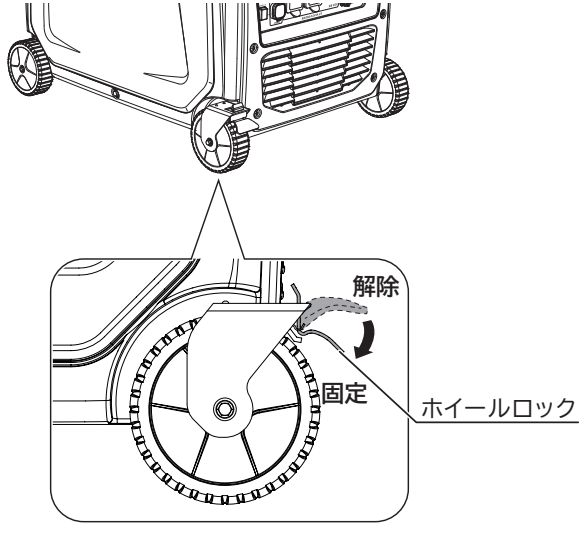
● バッテリー

・ エンジン始動時にセルスターターで始動するためのバッテリーです。
工場出荷時には配線が接続されていませんので、配線を接続してください。
接続はゴムバンドを外してバッテリーを取り出し、⊕側から順に接続してください。
（52 ページの「バッテリーの接続、取外し」参照）



● ホイールロック

・ 本製品が動かないように固定します。



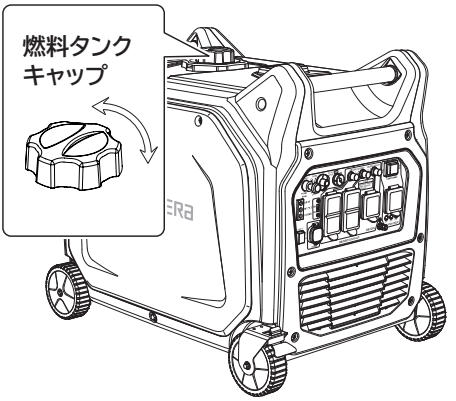
■ 運転前の点検

⚠ 警　告

- **給油・点検は平坦な場所で発電機を水平にしてからホイールロックを固定し、誤ってエンジンが始動しないようにエンジンスイッチを“停止”にしてください。**

・ エンジンの周りや発電機の下側にオイルの漏れがないことを確認してください。

● 燃料の給油・点検



《給油》

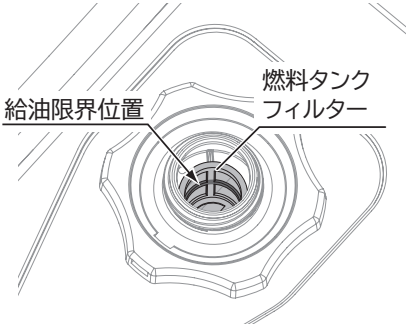
・ 燃料タンクキャップを外し、燃料（ガソリン）をフィルターの中央線（給油限界位置）を超えないように給油します。中央線より上まで給油すると、ガソリンが漏れることがあります。
給油後、キャップを確実に締付けてください。

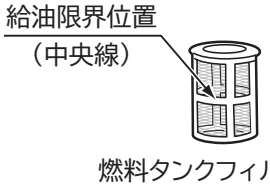
《補給》

タンク容量：18.0L

・ 使用燃料：自動車用 無鉛レギュラーガソリン

※ 燃料の残量は燃料ゲージを確認してください。





燃料タンクフィルター

⚠

- 必ず自動車用無鉛レギュラーガソリンを補給してください。高濃度アルコール含有燃料を補給すると、発火や漏れ、エンジンや燃料系などを損傷する原因となります。
- 軽油、灯油や粗悪ガソリンなどを補給したり、燃料添加剤を使うと、発火、発煙、エンジンなどに悪影響をあたえます。
- ガソリンは自然劣化しますので、30 日以上使用しない場合は、燃料タンク内のガソリンを専用容器に移して燃料タンク内を空にしてください。
- 燃料タンクフィルターを取外して給油しないでください。ガソリンを入れすぎて所定のレベル（給油限界位置）を超えたり、燃料タンク内に異物が入るおそれがあります。

⚠ 警　告

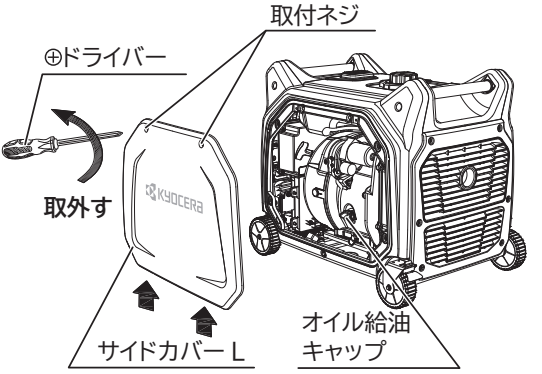
- **ガソリンは非常に引火しやすく、また気化したガソリンは爆発して死傷事故を引き起こすおそれがあります。**
- **ガソリンを補給するときは**
  - エンジンを停止してください。
  - 発電機が熱くなっているときは補給しないでください。
  - 火気を近づけないでください。
  - 換気の良い場所で補給してください。
  - ガソリンや燃料タンク内にほこりが入らないよう注意してください。
  - 身体に帯電した静電気を除去してから給油作業を行なってください。
    静電気の放電による火花により、気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。
    発電機や給油機などの金属部分に手を触れると、静電気を放電することができます。
  - ガソリンはこぼさないように補給してください。万一こぼれたときは、布きれなどで完全にふき取ってください。ふき取った布などは火災と環境に注意して処分してください。
  - ガソリンは口元まで入れず所定のレベル（給油限界位置）を超えないように補給してください。
    入れすぎるとタンク内のガソリンが燃料タンクキャップからにじみ出ることがあり危険です。

● エンジンオイルの給油・点検

《給油》

・ 工場出荷時にはエンジンオイルが給油されていませんので給油してください。

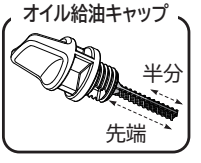
【1】 サイドカバー L の取付ネジを付属の ⊕ ドライバーでゆるめ、本体との上側のすき間にお手持ちの ⊖ ドライバーをさし込んでサイドカバー L を取外します。

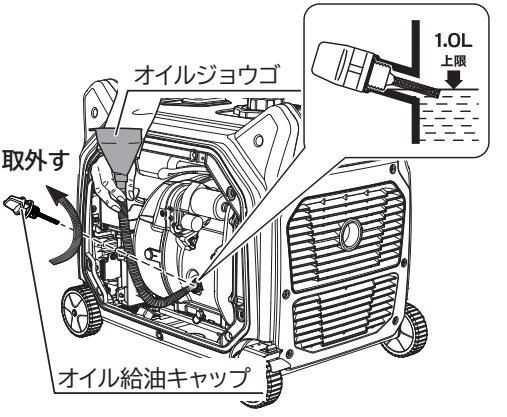


【2】 本体を水平な場所に置き、オイル給油キャップを矢印方向に回して外します。市販のオイルジョウゴを使用してエンジンオイルをオイル給油キャップの先端の半分がぬれるくらいまで給油します。

給油目安：1.0 L

給油後、オイル給油キャップを確実に締付けます。

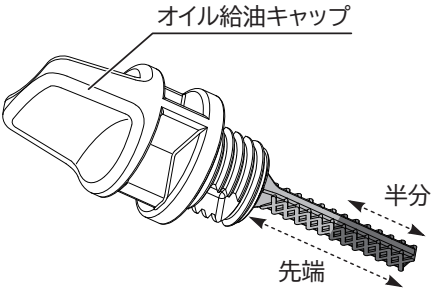




【3】 サイドカバー L を取付けます。
付属の ⊕ ドライバーで取付ネジを締付けて取付けてください。

《点検》

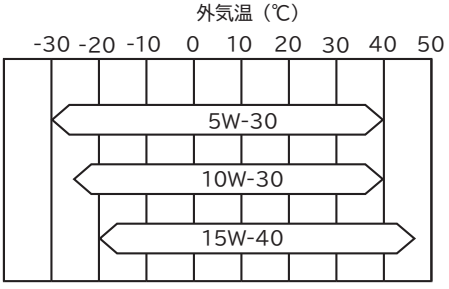
・ オイル給油キャップを外し、オイル給油キャップの先端の半分がぬれるくらいまでオイルがあるか点検してください。
汚れや変色が著しい場合は交換してください。
（交換方法：44 ページ参照）



・ エンジンオイルは必ず本体を直立させた状態で給油してください。傾けた状態で給油すると入れすぎになります。
・ エンジンオイルを入れすぎると白煙が出たり、エンジン不調になる原因になります。

《補給》

・ 少ないときは新しいオイルをオイル給油キャップの先端の半分がぬれるくらいまで補給します。



推奨オイル：

4 サイクル専用オイル

API 分類 SE 級以上 SAE 15W-40 または 10W-30，5W-30 オイルをご使用ください。

エンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを表にもとづきお使いください。

・ オイル給油キャップは確実に締付けてください。締付けがゆるいとオイルが漏れることがあります。

● エアクリーナー（空気清浄機）の点検

【1】 サイドカバー R の取付ネジを付属の⊕ドライバーでゆるめ、本体との上側のすき間にお手持ちの⊖ドライバーをさし込んでサイドカバー R を取外します。

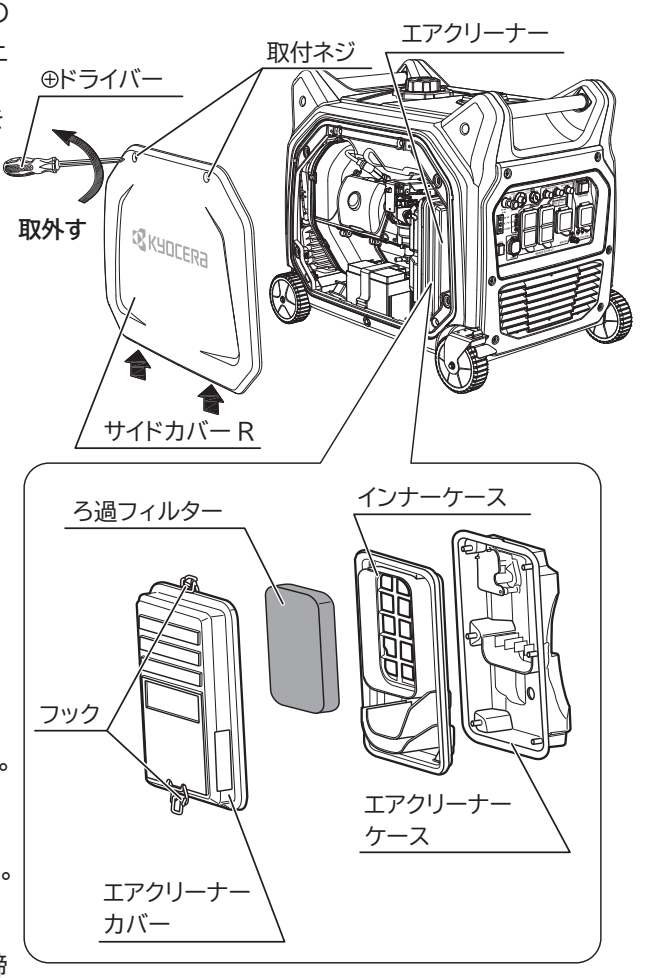
【2】 エアクリーナーカバーの上下のフックを外し、エアクリーナーカバーを取外します。

【3】 ろ過フィルターの汚れを点検します。
汚れのひどい場合は、ろ過フィルターの清掃をします。
（清掃方法：46 ページ参照）

【4】 エアクリーナーケース内の清掃
エアクリーナーケース内の中間リブにオイルが溜まっているか確認し、溜まっているようなら拭き取ってください。

【5】 エアクリーナーカバーを取付けます。
エアクリーナーケースにろ過フィルター、エアクリーナーカバーを取付けた後、フックを取付けてください。

【6】 サイドカバー R を取付けます。
付属の⊕ドライバーで取付ネジを締付けて取付けてください。

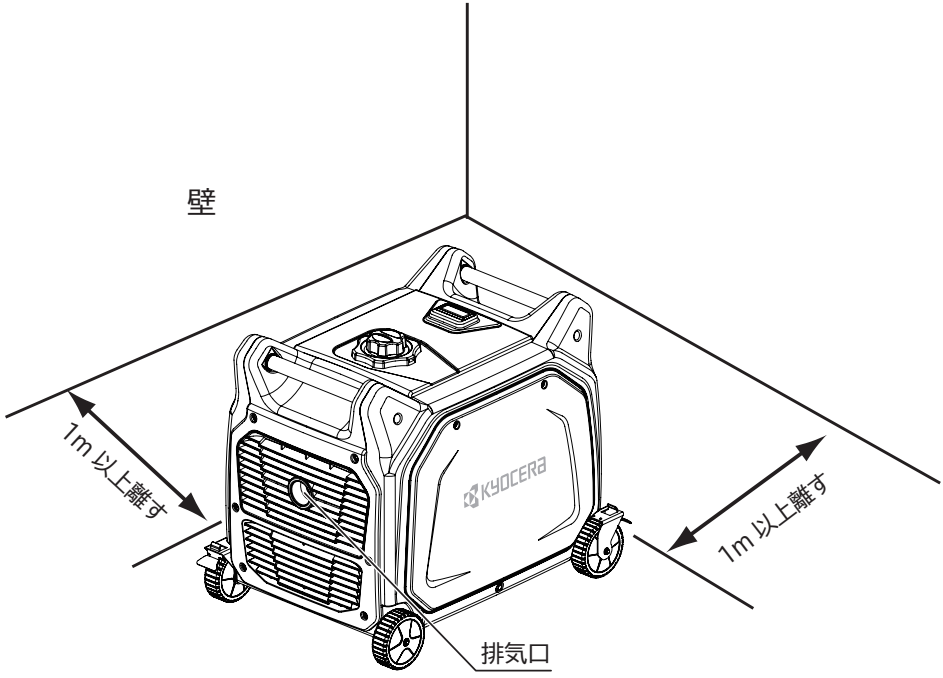


⚠

・ 各カバーの取付けが不完全であったり、ろ過フィルターが変形して取付けられた場合、または各カバーやろ過フィルターが取付けられていない場合はエンジンの耐久性に著しく悪影響をあたえます。各カバーやろ過フィルターなどは確実に取付けてください。

● 発電機周辺の点検

- 燃えやすいものや危険物は置いていませんか。
- 建物および他の設置物から１ｍ以上離れていますか。
- 風通しは良いですか、また換気は十分ですか。
- 排気口は風通しの良い、広い場所に向けてありますか。
- 周囲に火の気はないですか。
- 発電機をダンボール等で囲っていませんか。
- 使用場所が小石、土、砂利等で凸凹していたり軟らかい所、草むらや傾斜地では使用しないでください。
  やむをえず使用する場合は、発電機の下に板などを敷いて発電機を安定させてください。
- 振動で発電機の位置がずれる場合があるため、必ずホイールロックを固定してください。



使用方法

■ 発電機のかけかた

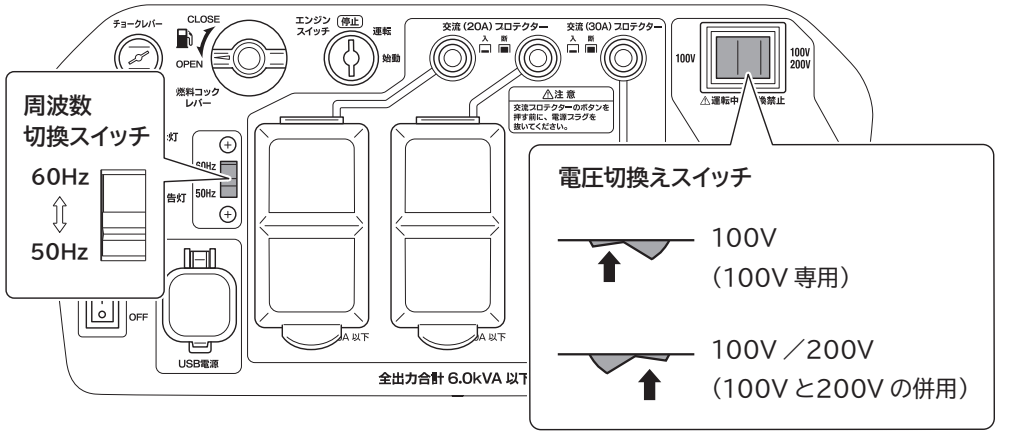
⚠ 警　告
・ 屋内や換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。有害な一酸化炭素がたまって中毒を引き起こすおそれがあります。
⚠ 注　意
・ 発電機のコンセントから使用器具のプラグが抜いてあることを確認してください。 ・ 使用器具が接続されたまま発電機を始動すると、使用器具が不意に作動し、思わぬけがや事故を起こす可能性があります。また、始動困難や発電性能に異常をきたすことがあります。

使用方法

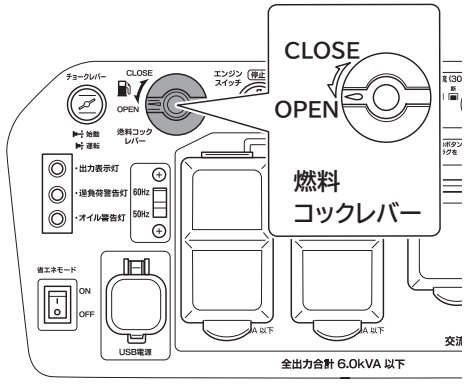
【1】 使用器具に合わせて、周波数と電圧を切換えてください。



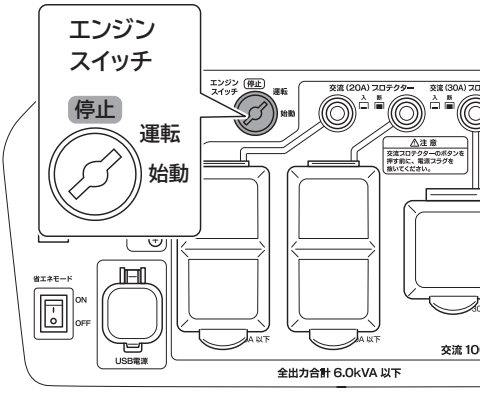
- 工場出荷時には周波数切換えスイッチは 50Hz に、電圧切換えスイッチは 100V にセットされています。
- 使用する機器の破損や異常動作、発電機の破損のおそれがありますので、周波数の切換えは、エンジンの停止中に行なってください。
- 使用する器具の周波数が不明な場合は、使用器具の会社にご相談ください。



【2】 燃料コックレバーを“OPEN”にします。

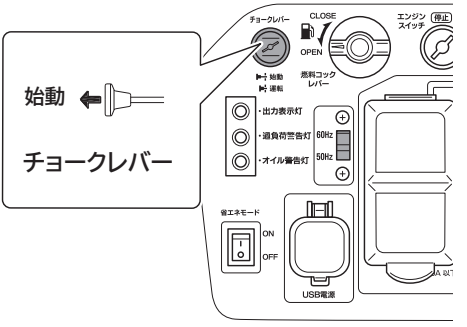


【3】 エンジンスイッチのキーシリンダーにキーを挿し、**“運転”**の位置まで回します。

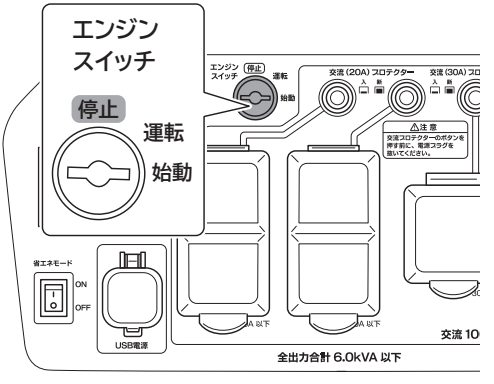


【4】 エンジン冷間時は、チョークレバーを引っ張って**“始動”**の位置にします。

※エンジンが暖まっているときは操作不要です。



【5】 エンジンスイッチのキーを**“始動”**まで回して保持し、エンジンを始動してください。5秒保持しても始動しない場合は、一旦キーを**“運転”**まで戻し、10 秒ほど待ったあと再度**“始動”**までキーを回してください。

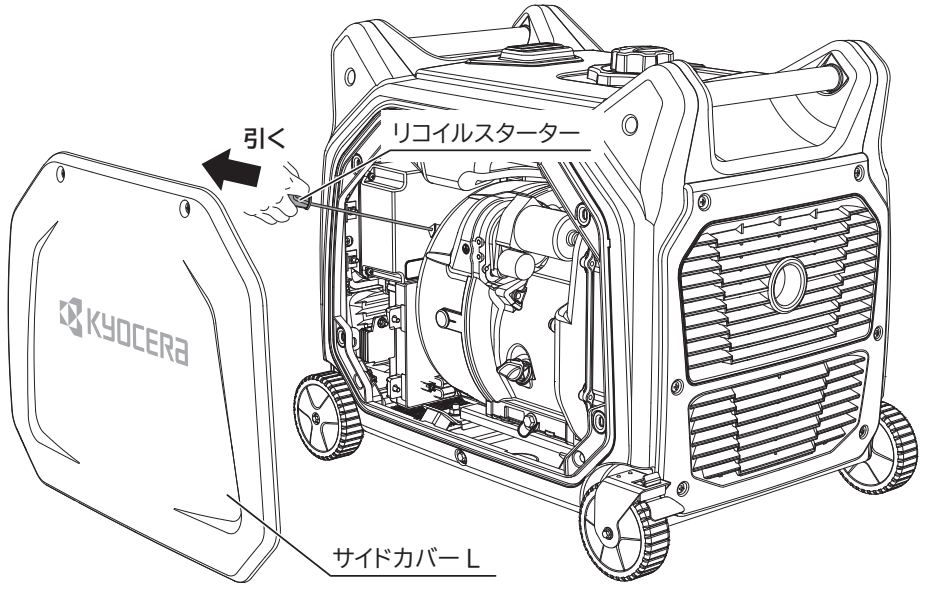


⚠

・バッテリー上がりなどでセルスターターでエンジンを始動できない場合、リコイルスターターでエンジンを始動することができます。サイドカバー L 内にリコイルハンドルがあります。

① サイドカバー L の取付ネジを付属の⊕ドライバーでゆるめ、上側に⊖ドライバーをさし込んでサイドカバー L を取外します。

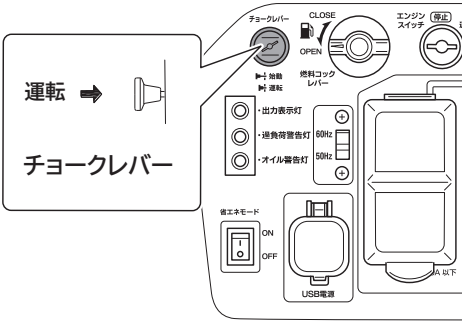
② リコイルスターターをゆっくり引いて重くなる所をさがし、リコイルスターターを一度戻してグリップを勢いよく引くとエンジンがかかります。リコイルスターターは図の矢印方向に引いてください。リコイルスターターは手を添えてゆっくりと元に戻してください。



③ サイドカバー L を取付けます。
付属の⊕ドライバーで取付ネジを締付けて取付けてください。

- 運転中はエンジンスイッチを**“始動”**にしたり、リコイルスターターを引かないでください。エンジンに悪影響を与えます。
- リコイルスターターで始動する場合は勢いよく引いてください。始動時のエンジン回転が速くなると、点火火花が飛びエンジンがかかります。リコイルスターターの引きが弱いと、エンジン回転が遅くなりエンジンがかからないことがあります。
- リコイルスターターは手を添えてゆっくりと元に戻してください。始動装置や周りの部品を破損することがあります。

【6】 始動後エンジンの回転が安定したらチョークレバーを押して**“運転”**にし、2 ～ 3 分暖機運転を行ないます。



- 始動直後のエンジン停止を繰返し行なわないでください。エンジンの始動不良やバッテリー上がりなど、不具合の原因になります。

■ 電気の取出しかた

使用器具を接続する前に必ず“安全上のご注意”の項目をよくお読みください。
（1 ～ 4 ページ参照）

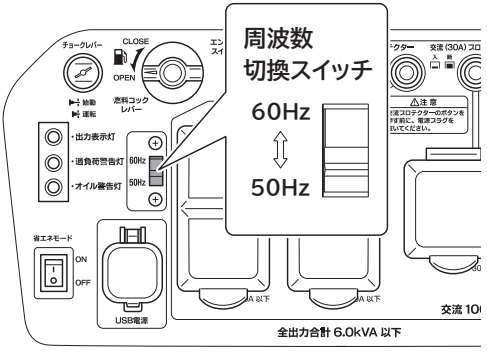
⚠ 警　告

- **電力会社からの電気配線には絶対に接続しないでください。**
  火災あるいは人身事故、または発電機や使用器具が故障する原因となります。

● 交流

交流電源の使用できる範囲は、11 ページを参照してください。

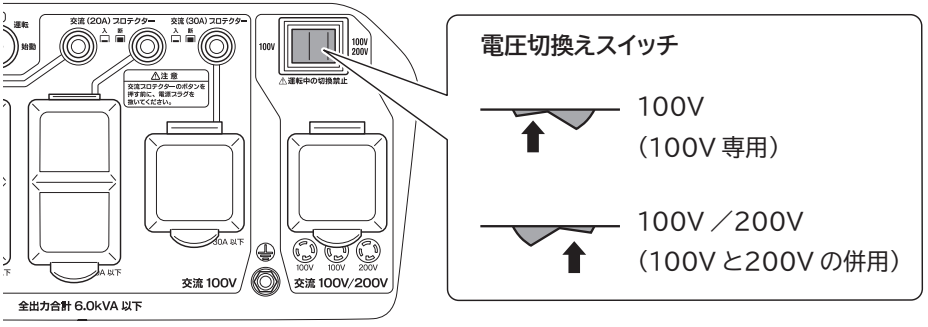
【1】 周波数切換えスイッチを使用器具の周波数に合わせます。



⚠

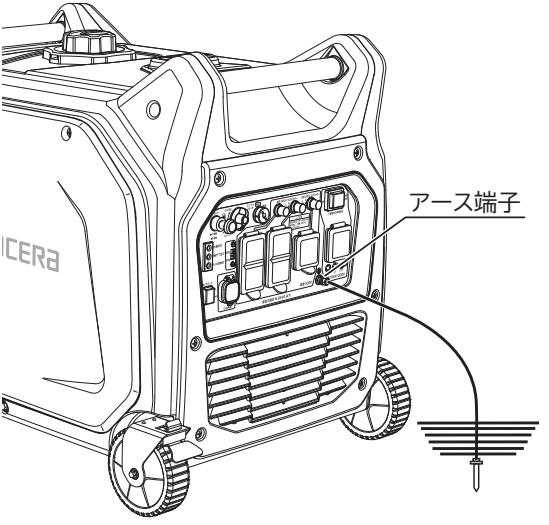
- 工場出荷時には周波数切換えスイッチは 50Hz にセットされています。
- 周波数と電圧の切換えは、エンジンの停止中に行なってください。
- 使用器具の周波数が不明な場合は、使用器具会社にご相談ください。

【2】 電圧切換えスイッチを使用器具の電圧に合わせます。



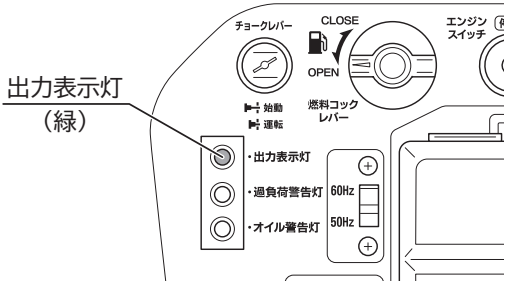
【3】 アース端子を接続します。

・ 使用器具をアースする場合は、発電機の本体も必ずアースしてください。

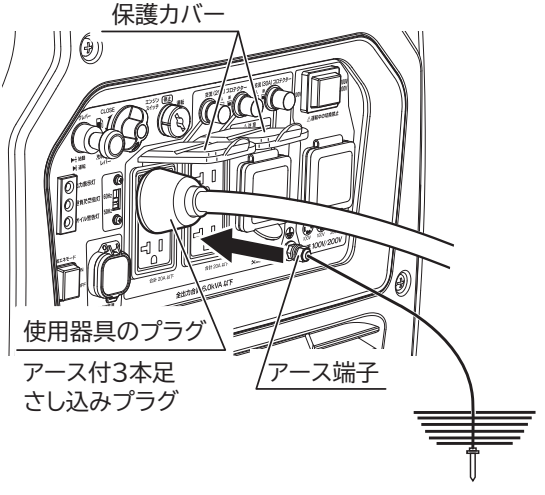


【4】「発電機のかけかた」に従ってエンジンを始動します。（28 ～ 32 ページ参照）

・ 出力表示灯（緑）が点灯するのを確認してください。

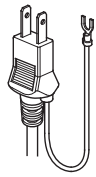


【5】 使用器具のスイッチが OFF（切）になっていることを確認し、保護カバーを開いてコンセントへ使用器具のプラグを確実にさし込みます。

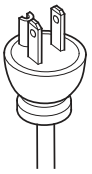


①②《100V 20A》

・ アース線付プラグまたはアース付3本足さし込みプラグの器具を使用する際は、発電機も必ずアースしてください。



アース線付プラグ



アース付3本足
さし込みプラグ

③《100V 30A》

・ 米国 NEMA 規格 L6-30P タイプのプラグをご使用ください。

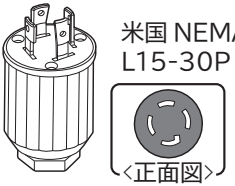


米国 NEMA 規格
L6-30P タイプのプラグ

〈正面図〉

④《200V 30A》

・ 米国 NEMA 規格 L15-30P タイプをご使用ください。



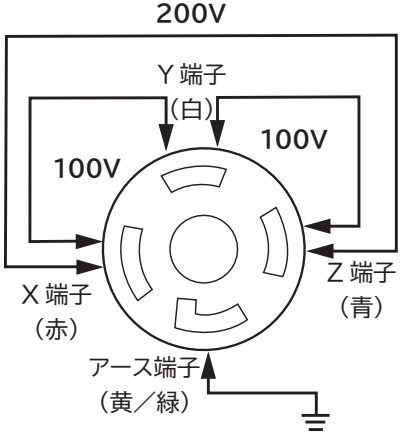
米国 NEMA 規格
L15-30P タイプのプラグ

〈正面図〉

《使用する端子》

単相200V 配線方式	使用端子
3線式	X, Y, Z
4線式	X, Y, Z, アース

※ ③④はプラグ側の配線作業には専門の知識が必要です。配線作業は専門の電気業者に相談してください。



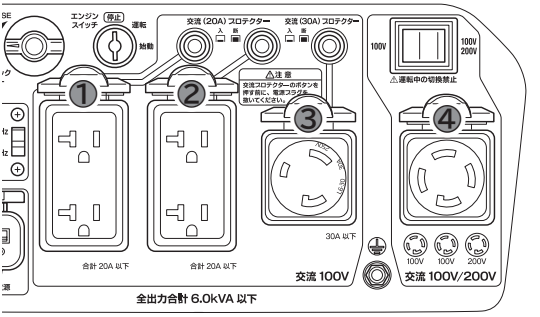
⚠ 注 意

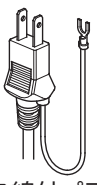
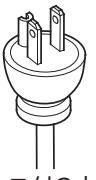
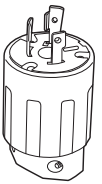
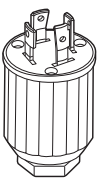
・ **接続する使用器具のスイッチが OFF（切）になっていることを確認してください。使用器具のスイッチが ON（入）になっていると、使用器具が急に作動し、思わぬけがや事故を起こす可能性があります。**

● プラグについて

プラグは下表を参考に使用してください。

・ 取出し電圧の選択は、37 ページを参照してください。

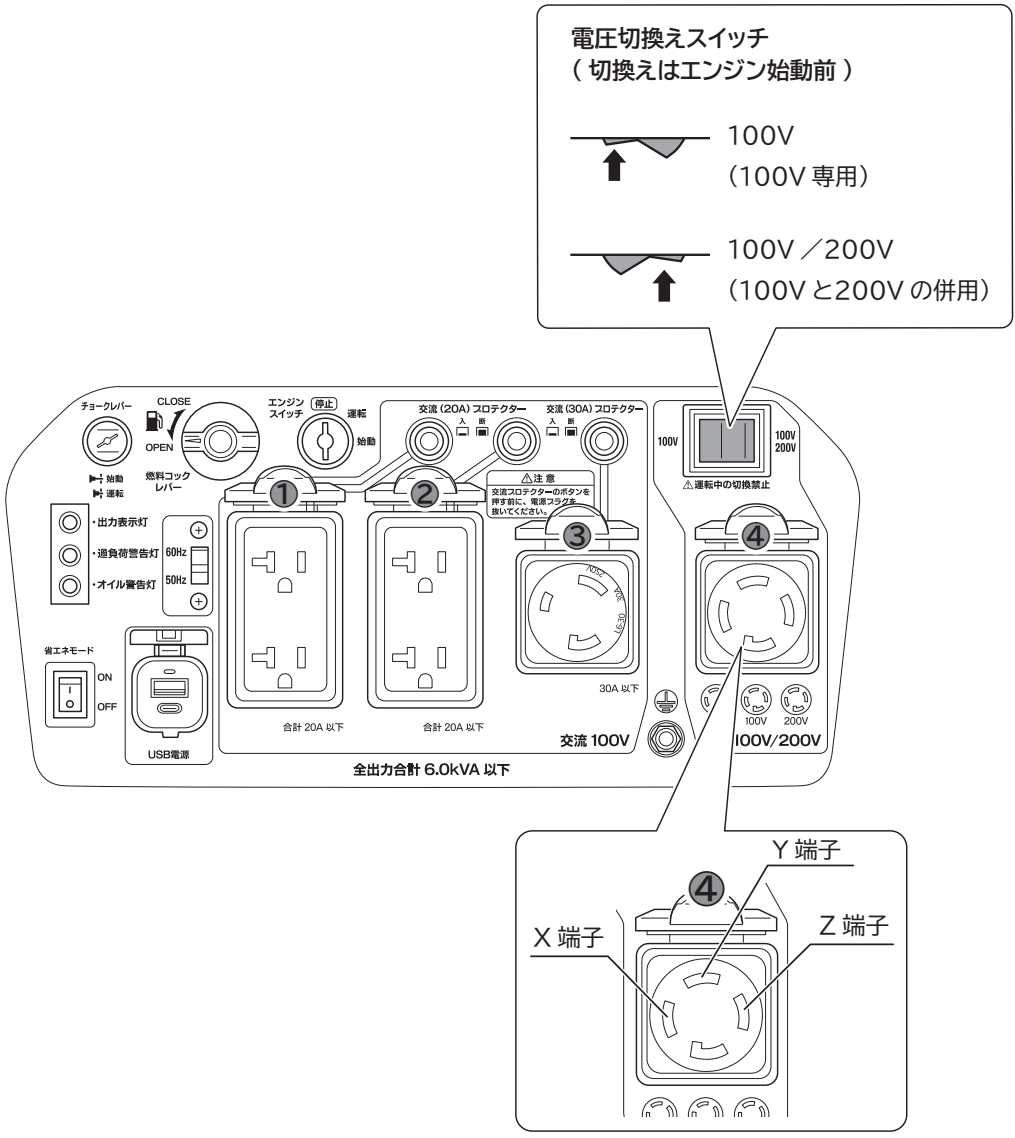


交流コンセント		取出し電気	使用可能プラグ例
①	 アース線付プラグ  アース付3本足さし込みプラグ	100V 最大 20A	―
②		100V 最大 20A	―
③	 米国 NEMA 規格 L6-30P タイプのプラグ  <正面図>	100V 最大 30A	パナソニック WF8330 明工社 MH 2578 （NEMA L6-30P タイプ）
④	 米国 NEMA 規格 L15-30P タイプのプラグ  <正面図>	200V 最大 30A	パナソニック WF8430 明工社 MH 2587 （NEMA L15-30P タイプ）

● 取出し電圧の選択

交流コンセントは、電圧切換えスイッチにより、「100V 専用」と「100V ／200V の併用」に切換えられます。

使用器具に合わせて切換えてください。



● 電源の使用上限

電源の使用上限には、「交流コンセントごとの上限」と「合計の総出力の上限」があります。
表の「電源の使用上限」を超えないでください。

《交流コンセントごとの電源使用上限》

電圧	出力	最大出力
100V	①	20A（100V）
	②	
	③	30A（100V）
	④（X-Y）	
	④（Y-Z）	
100V／200V	①	20A（100V）
	②	
	③	30A（100V）
	④（X-Y）	
	④（Y-Z）	
	④（X-Z）	30A（200V）

《合計の総出力上限》

電圧	出力	最大出力
100V	①+②+③+④	60A（100V）
100V／200V	①+②+③+④	60A（100V）
	④（X-Z）	60A（200V）

【6】 使用器具のスイッチを ON（入）にします。
正常運転（定格負荷内）でご使用の場合は、出力表示灯（緑）が点灯します。

過負荷運転（11 ～ 12 ページ参照）や使用器具が異常を起こした場合は、
過負荷警告灯（赤）が点灯し、出力表示灯（緑）が消え、出力が停止します。使用器具のスイッチを OFF（切）にした後、エンジンを停止させ、プラグをコンセントより抜いてください。過負荷および異常の原因を取除いてください。
エンジンを再始動すると、自動的にリセットされます。



- 本体の AC 出力は、過負荷運転や使用器具の異常により出力が停止すると、エンジンを再始動させることにより自動的にリセットされます。
- 過負荷警告灯は、コンプレッサーや水中ポンプなどの大きな起動電流を必要とする電機機器を使用する場合、最初の数秒間点灯することがありますが、異常ではありません。

● 直流（USB 電源）

⚠ 注 意

- **直流と交流を同時に取出す場合の交流機器の消費電力は、下記の範囲を守ってください。**
  50/60Hz・・・5900W
- **直流電源で使用する場合は、ヒューズと過電圧保護回路が入った電気機器であることを確認して接続してください。**

※ USB 電源使用時には、省エネモードを**“OFF”**にしてください。
ご使用になる機器の取扱説明書をよくお読みください。

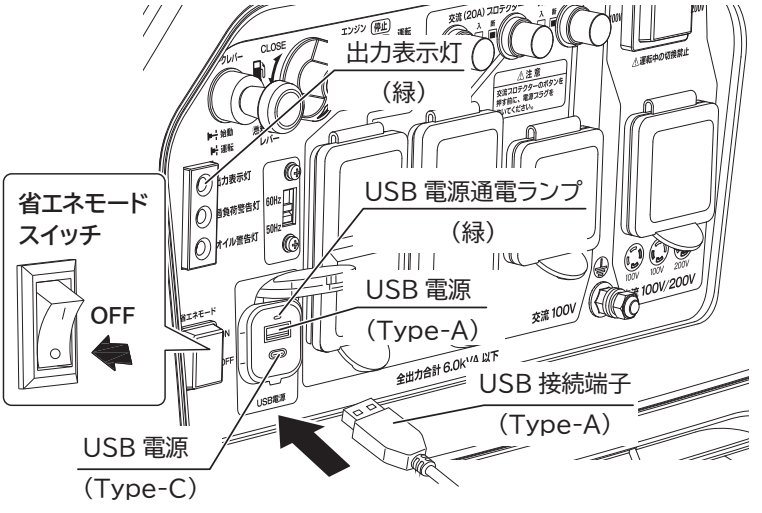
⚠

- 使用する機器の負荷が大きい場合、電圧が低下し、正常に使用できなかったり、破損するおそれがあります。

【1】 発電機のかけかたにしたがってエンジンを始動してください。
（28 ページの「発電機のかけかた」参照）

【2】 数秒後、出力表示灯（緑）と USB 電源通電ランプ（緑）が点灯していることを確認してください。
出力表示灯（緑）と USB 電源通電ランプ（緑）が点灯せず過負荷警告灯（赤）が点灯している場合は、エンジンを一旦止めてから、エンジンを再始動してください。
（19 ページの「過負荷警告灯（交流のみ）」参照）

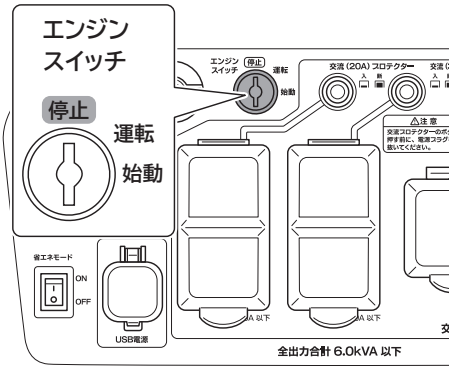
【3】 使用器具のスイッチが OFF（切）になっていることを確認し、プラグを USB 電源にさし込んでください。



■ 発電機の止めかた

● 緊急停止の場合

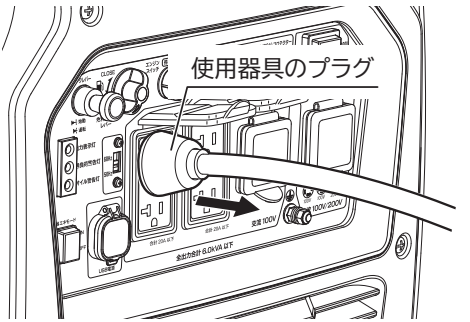
・ エンジンスイッチを“**停止**”にします。



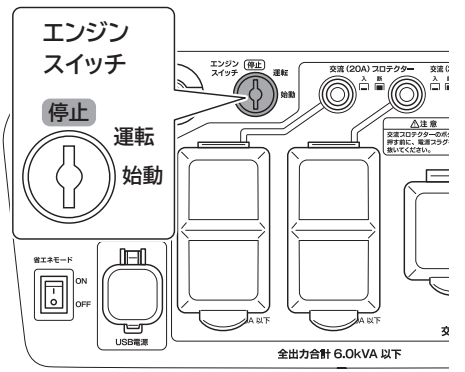
● 通常の停止

【1】 使用器具のスイッチを OFF(切)にします。

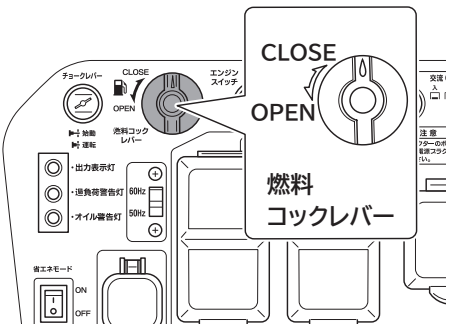
【2】 使用器具のプラグをコンセントから抜きます。



【3】 エンジンスイッチを“**停止**”の位置にしてエンジンを切ります。



【4】 燃料コックレバーを“**CLOSE**”にします。



点検・整備

■ 定期点検について

・ お買い上げいただきました発電機をいつまでも安全で快適にお使いいただくために定期点検を行なってください。

定期点検表

点検項目 ＼ 点検時期 ※1		作業前点検	1ヶ月目または初回20時間経過後	3ヶ月毎または50時間運転毎	6ヶ月毎または100時間運転毎	1年毎または200時間運転毎
エンジンオイル	点検	○				
	交換		○	○		
エアクリーナー	点検	○				
	清掃			○※2		
点火プラグ	点検調整				○	
	交換					○
燃料タンクフィルター	清掃				○	
燃料チューブ	点検	2年毎（必要なら交換）※3				

※1　点検時期は表中の期間毎または運転時間毎のどちらか早い方で実施してください。

※2　ホコリの多いところで使用した場合、エアクリーナーの清掃は10時間運転毎または1日1回行なってください。

※3　お買い上げの販売店で実施していただく項目です。

⚠ 警　告

- **点検、整備は平坦な場所で発電機を水平にし、誤ってエンジンが始動しないようにエンジンスイッチを“停止”にし、ホイールロックを固定して点火プラグキャップを外して行なってください。**
  （点火プラグキャップの外し方は、48 ページの「点火プラグの清掃」を参照してください。）

⚠ 注　意

- **エンジン停止直後は、エンジン本体や排気口などの温度や、油温が高くなっています。点検、整備はエンジンが冷えてから行なってください。やけどをするおそれがあります。**

● エンジンオイルの交換

・エンジンオイルが汚れていると本来の性能を発揮できないだけでなく摺動部や回転部の寿命を著しく縮めます。
交換時期、オイル容量を守ってください。

《交換時期》

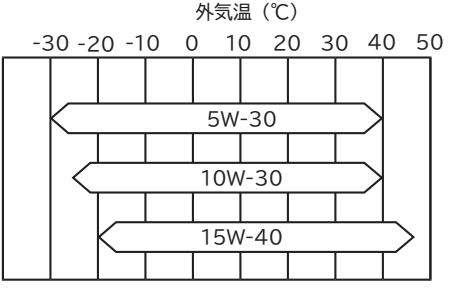
初回：1 ヶ月目または 20 時間経過後

以後：6 ヶ月毎または 50 時間運転毎

《推奨オイル》

4 サイクル専用オイル

API 分類 SE 級以上　SAE 15W-40 または 10W-30, 5W-30 オイルをご使用ください。



エンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを表にもとづきお使いください。

⚠

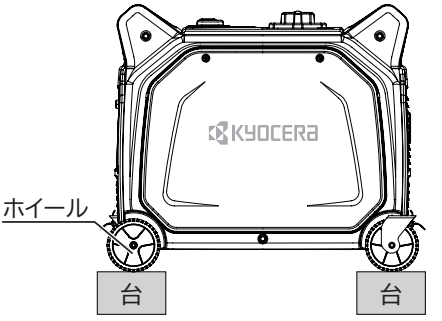
・オイル給油キャップは確実に締付けてください。締付けがゆるいとオイルが漏れることがあります。

《交換のしかた》

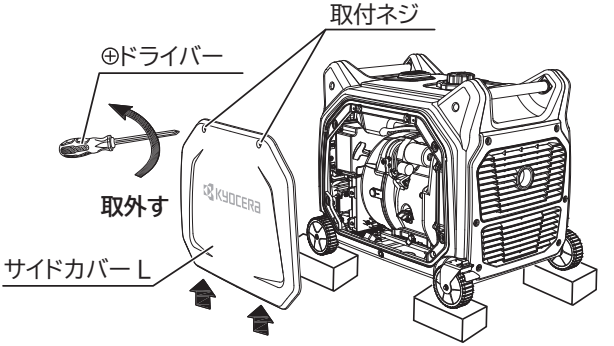
⚠ 注　意

- エンジンオイルは上限以上に給油しないでください。白煙が出るなどエンジン不調になるおそれがあります。
- 交換後のエンジンオイルはゴミの中や地面、排水溝などに捨てないでください。エンジンオイルの処理方法は法令で定められています。法令に従い適正に処理してください。不明な点はエンジンオイルをお買い上げになったお店にご相談のうえ処理してください。
- こぼれたエンジンオイルは、布きれなどで完全にふき取ってください。ふき取った布などは火災と環境に注意して処分してください。
- エンジンオイルは使用しなくても自然に劣化します。定期点検表に従い交換してください。（42 ページの「定期点検について」参照）

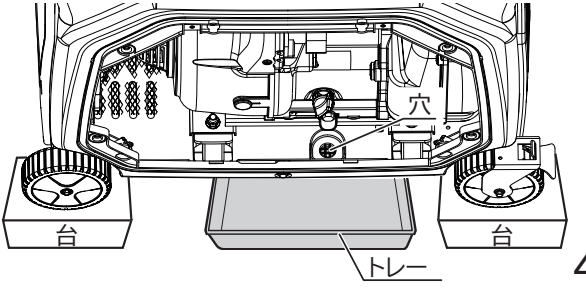
【1】 ホイールの下に台を置き、発電機の下に空間をつくります。



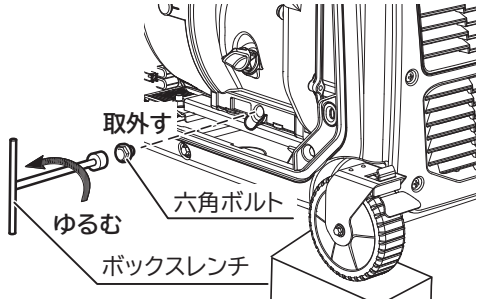
【2】 サイドカバー L の取付ネジを付属の ⊕ ドライバーでゆるめ、上側に ⊖ ドライバーをさし込んでサイドカバー L を取外します。

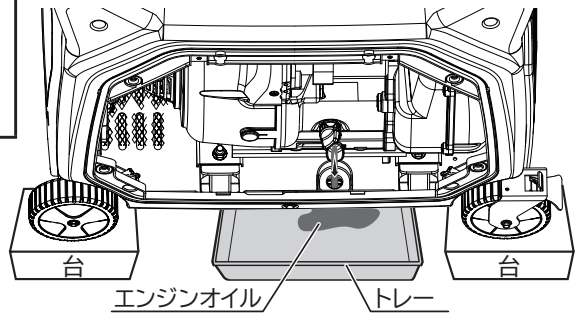


【3】 発電機の下（発電機底面の穴が上にくる位置）に適切なトレーを置きます。



【4】 市販のボックスレンチ（対辺 14）で六角ボルトをゆるめ、取外します。【3】で用意したトレーで発電機底面のメンテナンスホールから流れてくるエンジンオイルを受けます。

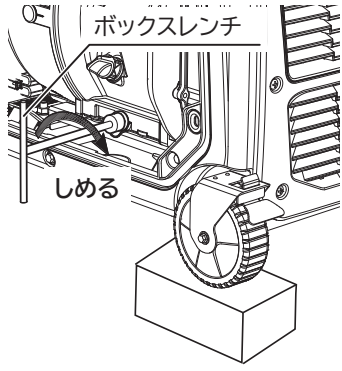




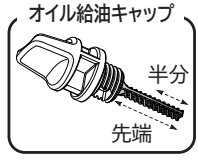
> ⚠
>
> - エンジン停止直後はエンジンオイルが高温になっています。十分に冷ましてから作業してください。
> - エンジンオイルがこぼれるおそれがありますのでご注意ください。

【5】 エンジンオイルが完全に抜けましたら、六角ボルトを締付けてください。

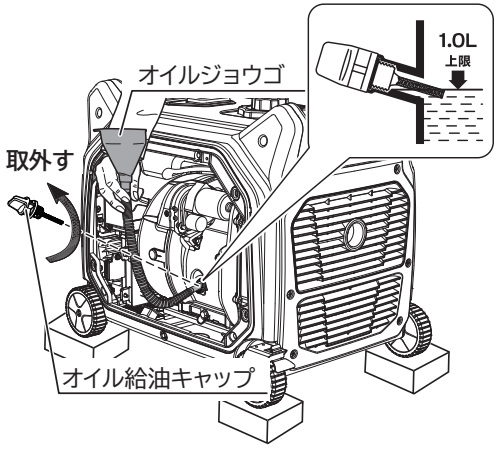
【6】 六角ボルトが確実に締付けてあることを確認してください。
発電機を水平面に直立させた状態で、オイル給油キャップを取外し、市販のオイルジョウゴを使用して新しいエンジンオイルをオイル給油キャップの先端の半分がぬれるくらいまで給油します。



給油目安：1.0 L



> ⚠
>
> - エンジンオイルは必ず本体を直立させた状態で給油してください。倒した状態で給油すると入れすぎになります。
> - エンジンオイルを入れすぎると白煙が出たり、エンジン不調になる原因になります。



【7】 給油後、オイル給油キャップを確実に締付け、サイドカバー L を取付けます。

● エアクリーナー（空気洗浄機）の清掃

・ エアクリーナーが目詰まりをすると出力が不足したり、燃料消費が多くなるので定期的に清掃しましょう。

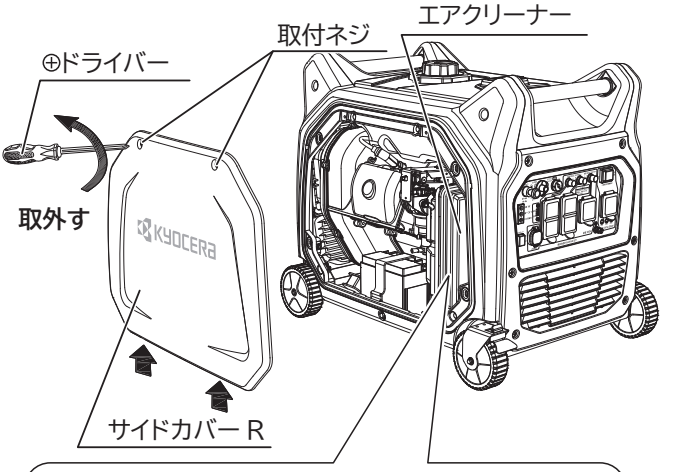
《清掃時期》

・ 3 ヶ月毎または 50 時間運転毎
・ ほこりの多い場所で使用した場合には 10 時間運転毎または 1 日 1 回。

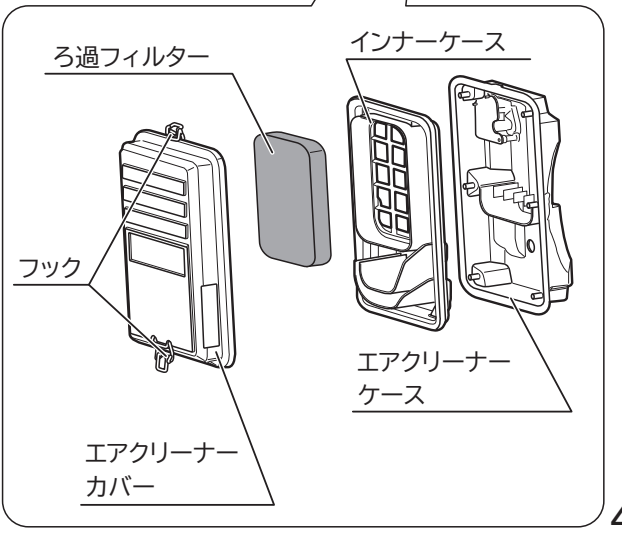
《清掃のしかた》

【1】 サイドカバー R の取付ネジを付属の⊕ドライバーでゆるめ、発電機との上側のすき間にお手持ちの⊖ドライバーをさし込んでサイドカバー R を取外します。

【2】 エアクリーナーカバーの上下のフックを外し、エアクリーナーカバーを取外します。



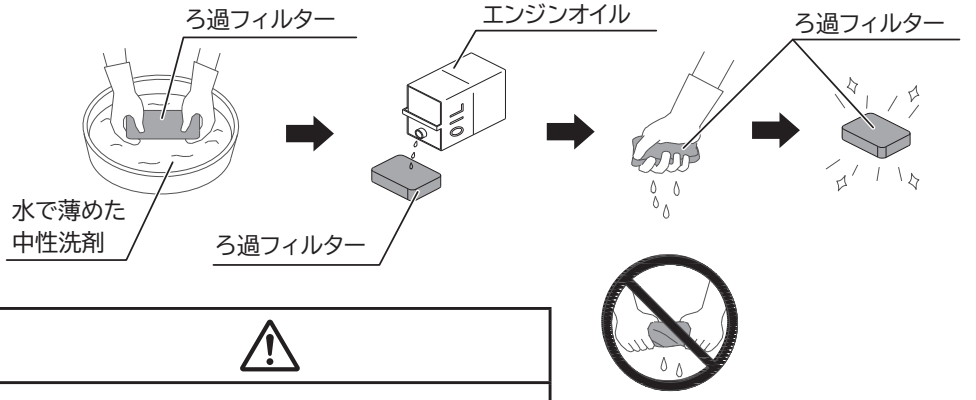
【3】 ろ過フィルター、インナーケースを取外します。



【4】 ろ過フィルターを水で薄めた中性洗剤で洗浄し、固くしぼって乾燥させてからエンジンオイル（SAE 15W-40 または 10W-30，5W-30）に浸し、固くしぼります。

⚠ 注 意

- **ろ過フィルターを洗浄するときは、耐油手袋などで手を保護してから行なってください。**



⚠

- ろ過フィルターをねじるようにして絞らないでください。ろ過フィルターが大きく変形したり、破損するおそれがあります。

【5】 エアクリーナーケースの底部などにオイルが溜まっていないか確認します。溜まっている場合はふき取ってください。

【6】 エアクリーナーケースにろ過フィルター、インナーケース、エアクリーナーカバーを取付けます。

【7】 サイドカバー R を取付けます。
付属の⊕ドライバーで取付ネジを締付けて取付けてください。

⚠

- カバーの取付けが不完全であったり、ろ過フィルターが変形して取付けられた場合、またはカバーやろ過フィルターが取付けられていない場合はエンジンの耐久性に著しく悪影響をあたえます。

● 点火プラグの清掃

⚠ 注 意

- **エンジン停止直後のエンジン本体や排気口、点火プラグなどは非常に熱くなっています。やけどをしないよう作業はエンジンが冷えてから行なってください。**

⚠

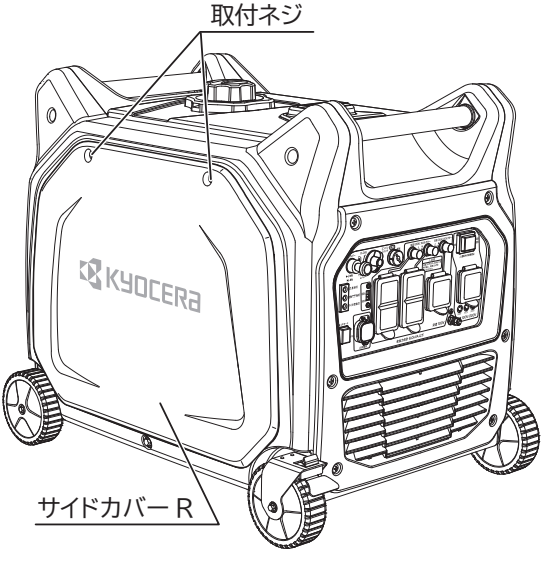
- 故障の原因となるので指定以外の点火プラグを使用しないでください。
- 点火プラグの取付けは、ネジ山を壊さないように、まず手で軽くいっぱいまでねじ込み、次にプラグレンチで確実に締付けてください。
- 点検、調整後は点火プラグキャップを確実にセットしてください。確実にセットしないと発電機の不調の原因となります。

- 点火プラグが汚れていたり、電極が摩耗すると完全な火花が飛ばなくなり発電機の不調の原因となります。

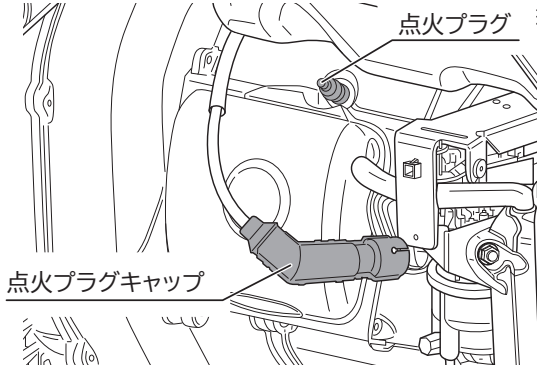
《点検・調整時期》　6 ヶ月毎または 100 時間運転毎
《交換時期》　1 年毎または 200 時間運転毎
《指定プラグ》　F6RTC(TORCH) または BPR6ES(NGK)

《清掃のしかた》

【1】 サイドカバー R の取付ネジを付属の ⊕ドライバーでゆるめ、上側に ⊖ドライバーをさし込んでサイドカバー R を取外します。

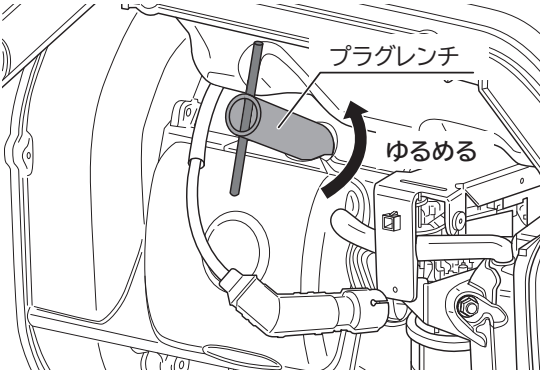


【2】 点火プラグキャップを引っ張り、点火プラグより手で取外します。



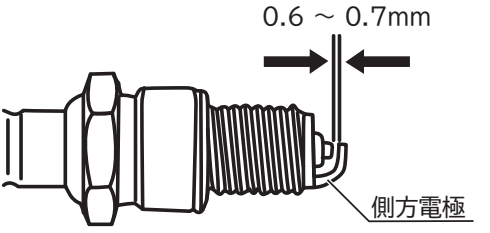
【3】 付属のプラグレンチをさし込んで、点火プラグを取外します。

【4】 点火プラグを清掃します。
清掃はプラグクリーナーを使用するのが最も良い方法です。お買い上げの販売店へお問い合わせください。
プラグクリーナーが無いときは、針金かワイヤブラシで汚れを落してください。



【5】 電極隙間を点検し、広い場合は側方電極を曲げ、火花すき間を下記寸法に調整します。

火花すき間：0.6 ～ 0.7 mm



【6】 点火プラグを取付けます。
点火プラグを手で一杯までねじ込んだ後、プラグレンチで確実に締付けます。

⚠

- 締付け過ぎるとネジ山が壊れるおそれがあります。トルクレンチを使用し、適正なトルクで締付けてください。
  適正トルク：15N・m ～ 20N・m

【7】 点火プラグキャップを点火プラグに確実に取付けます。

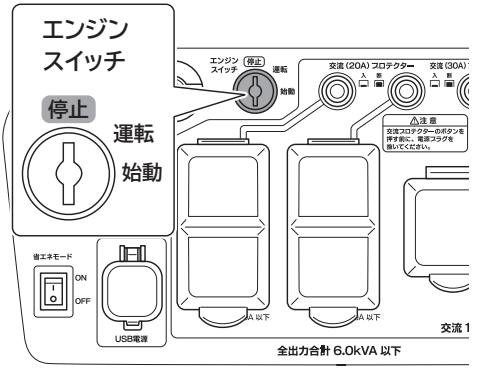
【8】 サイドカバー R を取付けます。
付属の⊕ドライバーで取付ネジを締付けて取付けてください。

● 燃料タンクフィルターの清掃

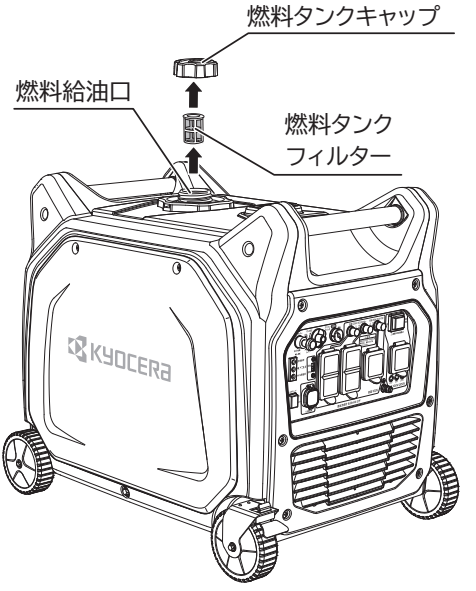
⚠

・ 燃料タンクフィルターが短期間で汚れる場合は、燃料タンク内に汚れが溜まっているおそれがあります。

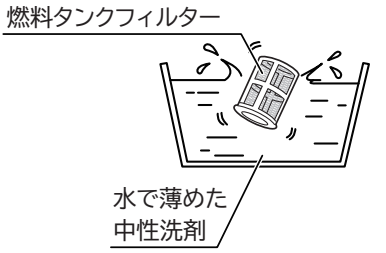
【1】 エンジンスイッチを“**停止**”の位置にしてエンジンを切ります。



【2】 燃料タンクキャップと燃料タンクフィルターを取外します。



【3】 燃料タンクフィルターを水で薄めた中性洗剤で洗浄し、乾いた布で拭いてよく乾燥させてから燃料タンクへ取付けます。



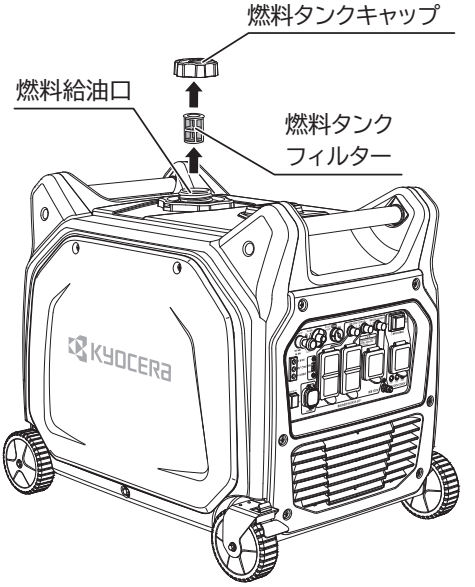


燃料タンクフィルター

⚠ 警　告

- **燃料タンクフィルターを洗浄するときは、耐油手袋などで手を保護してから行なってください。**
- **燃料タンクフィルター洗浄後はよく乾燥させてから取付けてください。故障の原因になります。**

【4】 燃料タンクキャップを取付けます。



⚠ 警　告

- **燃料タンクキャップは確実に締付けてください。**

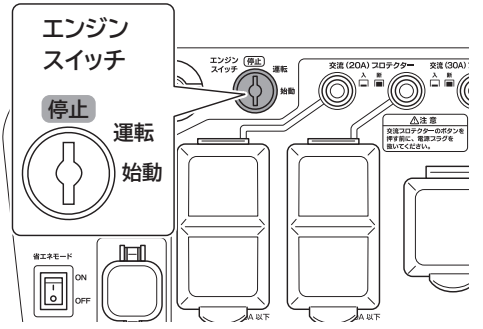
■ バッテリーの接続、取外し

⚠ 警　告

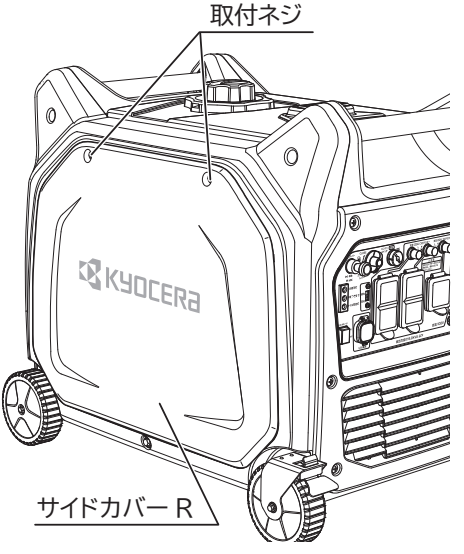
- バッテリーを取り扱うときは風通しの良いところで、ショートによる火花に注意してください。また火気を近づけないでください。バッテリーからは可燃性のガスが発生していますので爆発の危険があります。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付くとその部分が侵されますので十分注意してください。万一、付着したときはすぐに大量の水で少なくとも15分以上洗浄し、直ちに専門医の診断を受けてください。
- バッテリーの結線は正確に行なってください。接続時は⊕側から接続し、外すときは⊖側から外してください。誤るとショートする場合があります。

《接続》

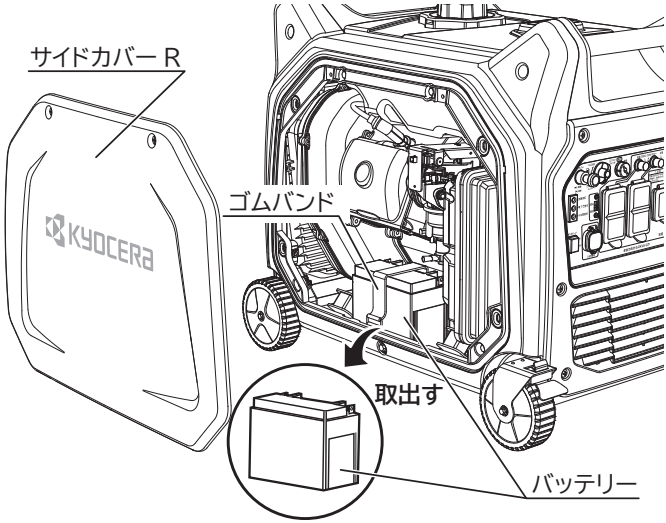
【1】 エンジンスイッチキーを“停止”の位置にしてエンジンを停止します。



【2】 サイドカバー R の取付ネジを付属の⊕ドライバーでゆるめ、上側に⊖ドライバーをさし込んでサイドカバー R を取外します。

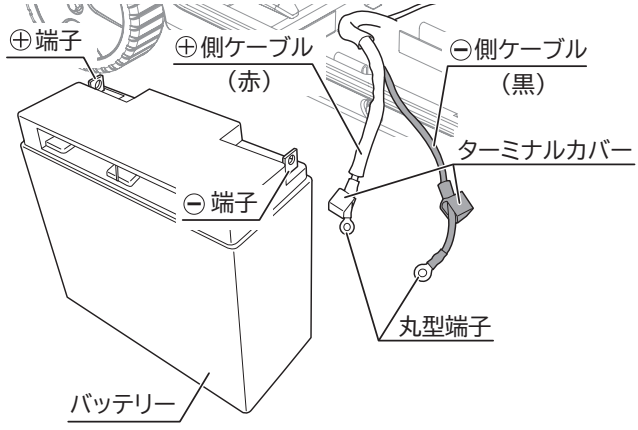


【3】 ゴムバンドを外してバッテリーを取出します。

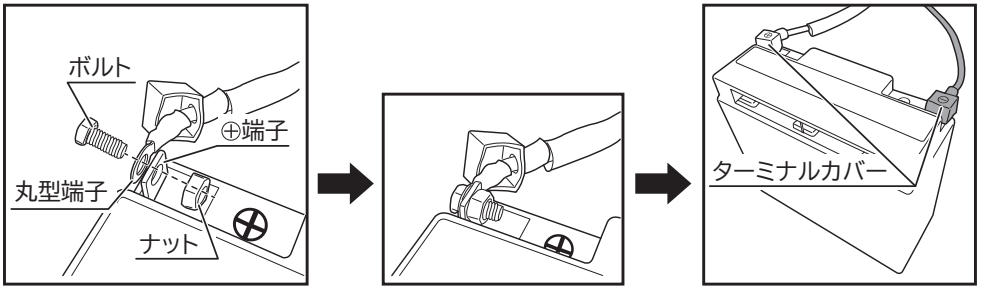


【4】 必ず⊕側から接続してください。
⊕側のケーブル(赤)をバッテリーの⊕端子に接続し、ターミナルカバーを取付けます。

※ 接続には付属のボルト・ナット、⊕ドライバー、市販のスパナを使用します。



【5】 ⊖側も同様の手順で接続します。



⚠

- バッテリーの端子にグリースを塗布してください。
- 端子の締付けがゆるいと締付け部より発熱して火災のおそれがあります。運転中にゆるまないように確実に締付けてください。
- 配線の損傷するような取付け、急角度での折り曲げ等による傷には十分注意してください。

【6】 バッテリーを元の位置に戻します。

【7】 ゴムバンドで固定してください。

【8】 サイドカバー R を取付けます。
付属の⊕ドライバーで取付ネジを締付けて取付けてください。

《取外し》

【1】 バッテリーの取外しは接続と逆の要領で行ないます。
エンジンスイッチキーを**“停止”**の位置にしてエンジンを停止します。

【2】 サイドカバー R の取付ネジを付属の⊕ドライバーでゆるめ、上側に⊖ドライバーをさし込んでサイドカバー R を取外します。

【3】 ゴムバンドを外し、バッテリーを取出します。

【4】 ターミナルカバーを外し、⊖側のケーブル（黒）をバッテリーの⊖端子から取外します。

【5】 ⊕側も同様の手順で取外します

【6】 バッテリーを取出すことができます。

● 非常用電源などの用途にご使用の場合には

・非常用電源などの用途で常時使用しない場合は、毎月 1 回試運転を行ない、発電機に異常がないか確認してください。燃料やオイルは長時間放置すると自然劣化してエンジンがかかりにくくなり、また故障の原因にもなります。



・ガソリンは自然劣化しますので、30 日以上使用しない場合は燃料タンク内のガソリンを専用容器に移して燃料タンク内を空にしてください。
・エンジンオイルは自然劣化しますので定期点検表（42 ページ参照）に従い交換してください。（交換方法：44 ページ参照）

試運転のしかた

【1】「運転前の点検」に従って、燃料、エンジンオイル、エアクリーナーを点検します。（22 ～ 27 ページ参照）

【2】「運転操作（発電機のかけかた）」に従ってエンジンを始動します。（28 ～ 32 ページ参照）

【3】 照明器具などを使用して 10 分以上運転します。

【4】 エンジンの調子、オイル、燃料の漏れ、出力表示灯、各スイッチの作動を確認します。

● 修理について

・本製品は厳密な管理の下で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
・アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。
・その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

運搬および保管・格納

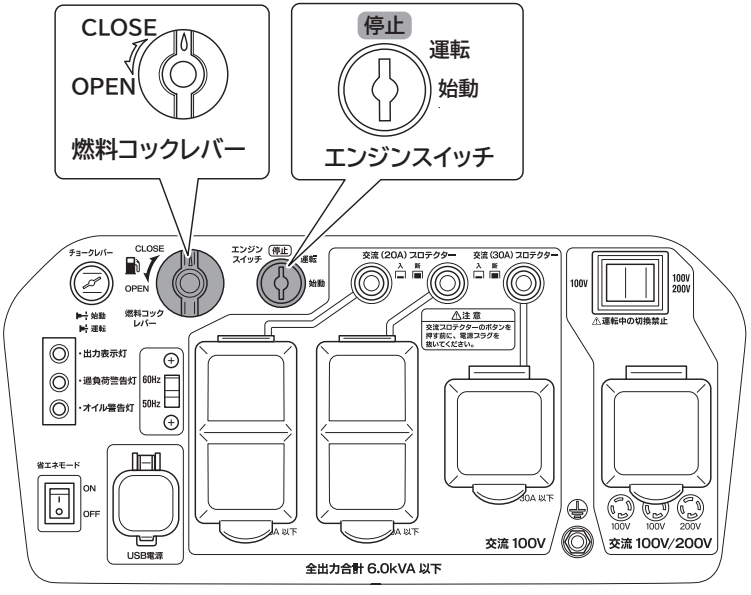
■ 運搬

⚠ 警　告

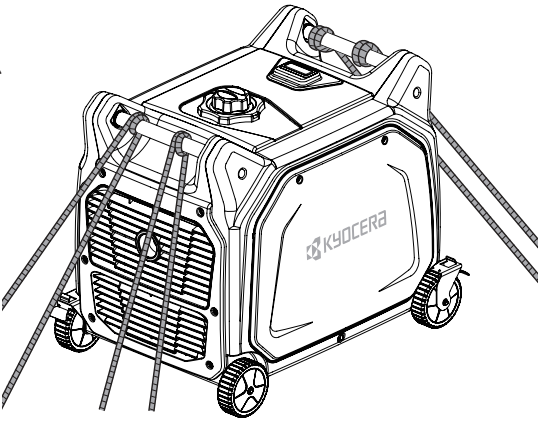
- 燃料タンクにガソリンを入れたまま運搬しないでください。振動や衝撃などで燃料タンクのガソリンがこぼれるおそれがあります。
- 車室内やトランクに発電機を積んだまま、直射日光の当たるところや高温となる場所に長時間放置しないでください。
  車両の内部が高温になり、燃料が気化して引火しやすい状態になり危険です。
- 車のトランクに発電機を積んだまま長時間悪路を走行しないでください。
- クレーンやウインチなどを使用して発電機を吊り上げる場合は、ロープやスリングなどを使用してください。

発電機を車両等で運搬する場合には、次の事を必ず守ってください。

【1】 エンジンスイッチが**“停止”**になっていることと、燃料コックレバーが**“CLOSE”**になっていることを確認してください。

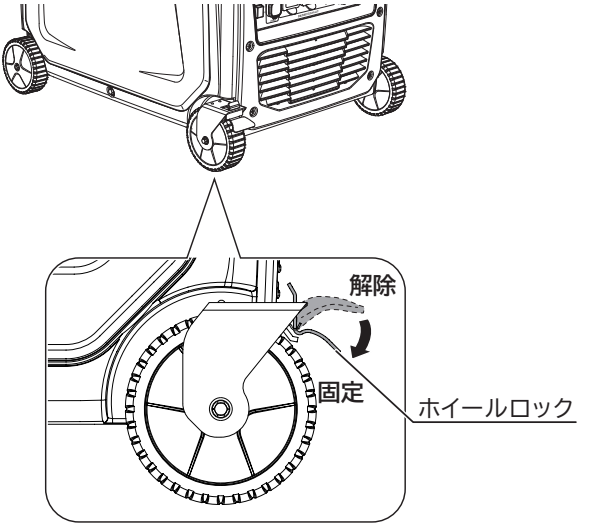


【2】 発電機が落下、転倒、破損などしないような場所を選んで積載し、フロントハンドル、リアハンドルにロープなどを掛けてしっかり固定します。



⚠

・ ホイールロックを固定して発電機が動かないようにしてください。
（21 ページの「ホイールロック」参照）



【3】 運搬中に発電機を落下させたり、衝撃をあたえないでください。

■ 保管・格納

長期間運転しない場合、または長期間格納する場合は次の手入れを行なってください。
30 日以上使用しない時は、燃料を空にしてください。（59 ～ 62 ページ参照）
古くなった燃料は故障の原因となります。

⚠ 警　告

- **ガソリンは非常に引火しやすく、また気化したガソリンは爆発して死傷事故を引き起こすおそれがあります。**
  - **火気を近づけないでください。**
  - **換気の良い場所で行なってください。**
  - **ガソリンはこぼさないでください。万一こぼれたときは、布きれなどで完全にふき取ってください。ガソリンをふき取った布などは、火災と環境に注意して処分してください。**
- **絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがや事故の原因になります。**

⚠ 注　意

- **エンジン停止直後のエンジン本体や排気口などは非常に熱くなっています。やけどをしないように、各部が十分に冷えてから作業を行なってください。**

⚠

- 燃料は自然に劣化します。必ず抜いてください。
- 次回使用時は、新しい燃料を入れてください。

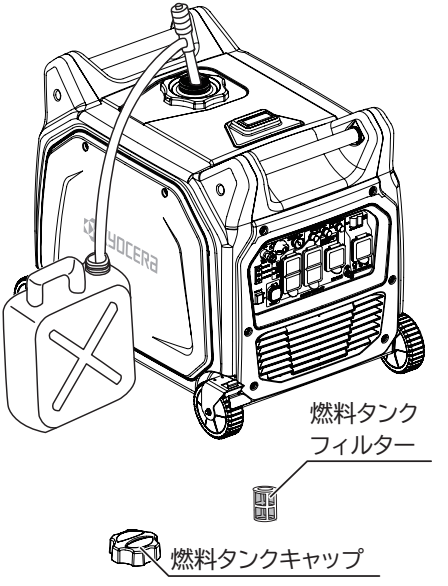
【1】 発電機各部の清掃を行ないます。

⚠ 警 告

- **発電機を水洗いしないでください。**
  電装部品の故障やショートを起こす可能性があります。また湿気や凍結により使用時に感電するおそれがあります。

【2】 エアクリーナーを清掃します。
（46 ページ参照）

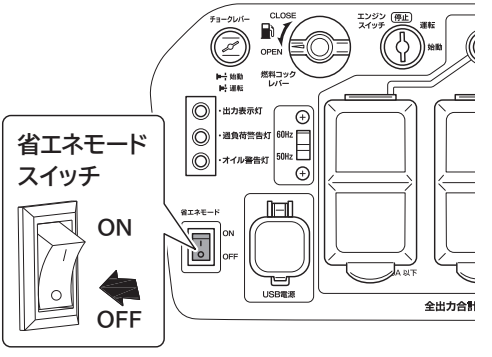
【3】 燃料タンクキャップと燃料タンクフィルターを外し、市販のガソリン用ポンプなどを使用して燃料タンク内のガソリンを専用容器に移してください。
電動式のポンプは使用しないでください。
燃料タンクフィルターを戻し、燃料タンクキャップを締付けます。



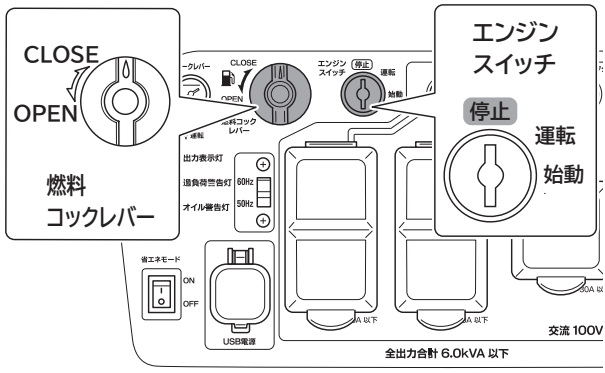
【4】 エンジンを始動し、ガス欠状態で停止するまで運転します。

⚠

- このとき、省エネモードスイッチは **“OFF”** にしてください。



【5】 数分～数十分後、エンジンがガス欠状態で停止したら、エンジンスイッチを**“停止”**にし、燃料コックレバーを**“CLOSE”**にします。

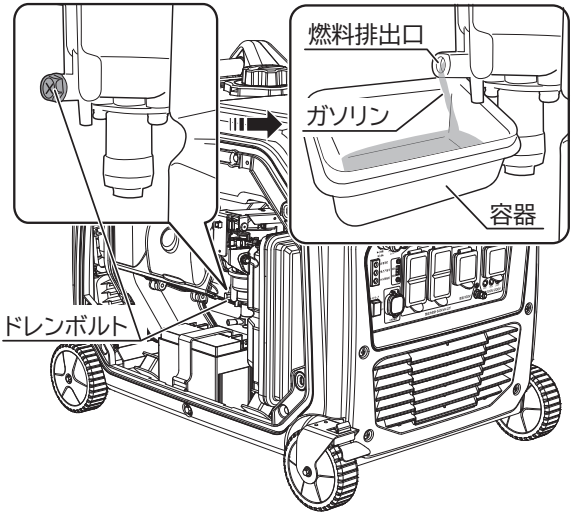


【6】 キャブレター、燃料ポンプ内の燃料を抜きます。

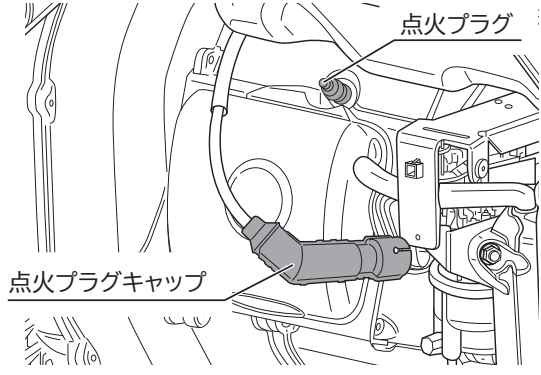
① サイドカバーＲを取外します。
（取外し方法：20 ページ参照）

② ドレンボルト付近に適切な容器を添えます。

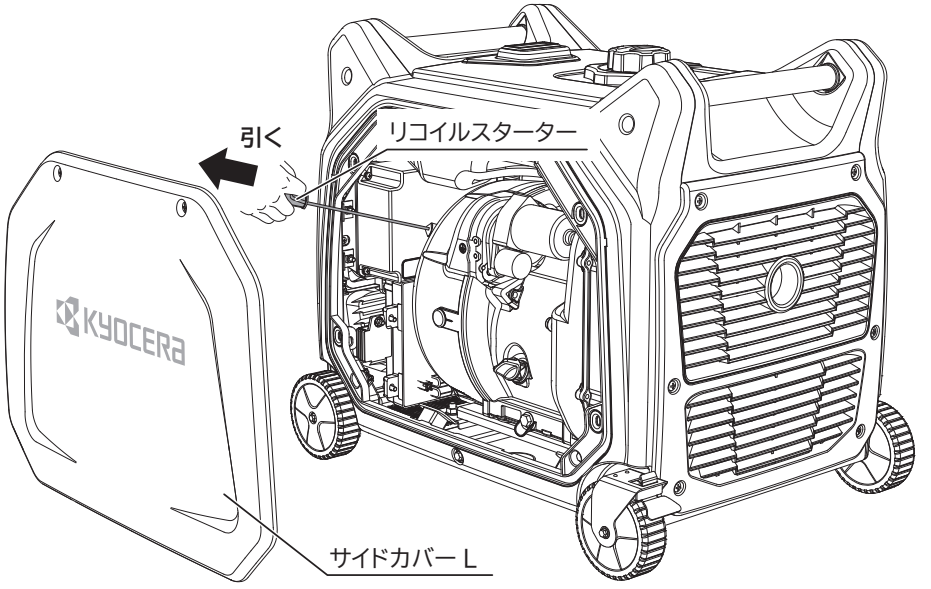
③ エンジンスイッチを**“運転”**にし、付属の⊕ドライバーでドレンボルトを取外すと燃料を抜くことができます。



④ 点火プラグキャップを点火プラグより取外します。



⑤ サイドカバー L を取外し、リコイルスターターを 3 ～ 4 回引くと、燃料ポンプ内の燃料が燃料排出口から出ます。



⑥ 完全に燃料が抜けたらエンジンスイッチを**“停止”**にします。

⑦ 付属の⊕ドライバーでドレンボルトを締付けます。

⑧ 点火プラグキャップを点火プラグに確実に取付けます。

⑨ バッテリーの⊖側の端子を外します。

【7】 リコイルスターターをゆっくり引き、重くなったところで止めます。

【8】 サイドカバー L とサイドカバー R を取付けます。
付属の⊕ドライバーで取付ネジを締付けて取付けてください。

【9】 発電機が冷えていることを確認し、シート等をかけ、風通しのよい湿気の少ない所に保管します。

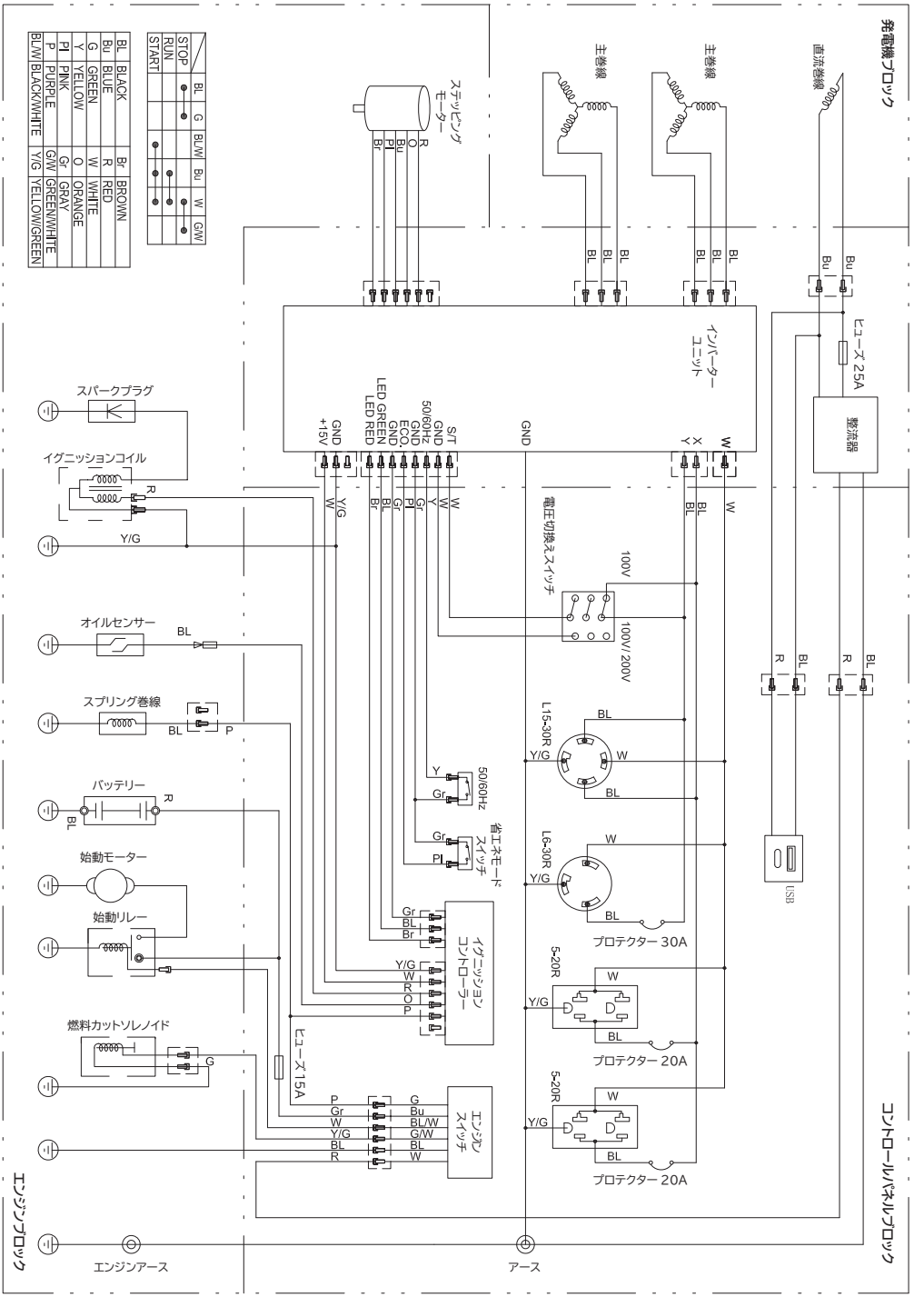
故障かなと思ったら

まずご自身で次の点検を行ない、その上でなお異常のあるときは、むやみに分解しないでお買い上げの販売店にお申しつけください。

症状	原因	処置	参照ページ
エンジンが始動しないとき	始動方法が間違っている	取扱説明書を参照してください。	28 ～ 32
	バッテリーが弱っている	リコイルスターターで始動してください。または、バッテリーを交換してください。	31
	燃料タンクが空になっている	燃料を補給してください。	22 ～ 23
	燃料タンクに古いガソリンが入っている	新しい燃料に入れ換えてください。	22 ～ 23
	エンジンオイルが不足している	エンジンオイルの量を確認し、不足している場合は補給してください。	24 ～ 25
	傾斜地で使用している	水平な所で使用してください。	—
	点火プラグが汚れているまたはぬれている	点火プラグを乾燥、清掃してください。	48 ～ 49
	点火プラグの火花すき間が適正でない	火花すき間の調整を行なってください。正しく行なえない場合、新しい点火プラグと交換してください。	48 ～ 49
	エンジンスイッチが“停止”になっている	エンジンスイッチを“運転”にしてください。	30

症状		原因	処置	参照ページ
電気が取出せないとき	過負荷警告灯（赤）が点灯して出力表示灯（緑）が点灯していない	過負荷が継続された場合や使用器具に異常がある場合	接続している使用器具のスイッチを切り、プラグをコンセントより抜いてから過負荷の原因または使用器具の異常を改善してください。	19
	保護機能が働き、プロテクターボタンが作動している（プロテクターボタンが突出ている）	使用器具に異常があった場合や過負荷が継続された場合に保護機能が働いている	接続している使用器具のスイッチを切り、プラグをコンセントより抜いてから過負荷の原因または使用器具の異常を改善した後、プロテクターのボタンを押してください。 プロテクターのボタンを押しても再度保護機能が働く場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	15
白煙が出る		エンジンオイルの量が多すぎる	エンジンオイルの量を適正にしてください。	24・45

配線図


発電機ブロック
直流巻線
主巻線
主巻線
ステッピング モーター
インバーター ユニット
整流器
ヒューズ 25A
USB
スパークプラグ
イグニッションコイル
オイルセンサー
スプリング巻線
バッテリー
始動モーター
始動リレー
燃料カットソレノイド
ヒューズ 15A
電圧切換えスイッチ
100V
100V/ 200V
50/60Hz
省エネモード スイッチ
イグニッション コントローラー
エンジン スイッチ
L15-30R
L6-30R
5-20R
プロテクター 30A
プロテクター 20A
プロテクター 20A
コントロールパネルブロック
エンジンブロック
エンジンアース
アース
STOP
RUN
START
BL BLACK
Bu BLUE
G GREEN
Y YELLOW
P PINK
Gr GRAY
O ORANGE
W WHITE
R RED
Br BROWN
G/W GREEN/WHITE
Y/G YELLOW/GREEN
BL/W BLACK/WHITE

部品の購入、故障、その他取り扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

商品のお問い合わせ窓口

■お問い合わせ

https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/info/

■電話によるお問い合わせ

ナビダイヤル® 0570-666-787

受付時間：
月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、13時から17時まで
※通話料金はお客様負担となります。

回収のために下記のリョービ電動サンダーを探しています。

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は、こちらをご参照ください。

https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html

レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

持込修理

保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名 EGI600		製造番号（表示位置は「各部の名称」をご確認ください）
お客様	お名前	
	ご住所 〒 電話　　（　　）	
お買い上げ日 年　　月　　日		保証期間（お買い上げ日より） 1年
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号	

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （a） 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
2. ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、京セラインダストリアルツールズ営業所にお問い合わせください。
3. 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
   （a） 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
   （b） 工場のライン作業など、連続して長時間使用したことによる故障または損傷
   （c） 保管や手入れの不備による故障や損傷
   （d） リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
   （e） 水の浸入による故障または損傷
   （f） お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
   （g） 過剰な負荷で使用をされて生じた故障または損傷
   （h） 天災、異常電圧などによる故障または損傷
   （i） 使用損耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
   （j） 本書のご提示がない場合
   （k） 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
   （l） モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
   （m） 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
   （n） 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
   （o） 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
   （p） 商品分解状態でのお持ち込み
4. 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
5. 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
6. 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
7. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。
This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ

京セラインダストリアルツールズ株式会社

本社
広島県福山市松浜町 2-2-54　〒720-0802
https://www.kyocera-industrialtools.co.jp